

4715

7/1

三重縣知事成川尚義君題辭
陸軍步兵少佐田中伸稻君序
勲六等春日井是信編纂

徵兵規則類纂全

三重縣津市釜屋町

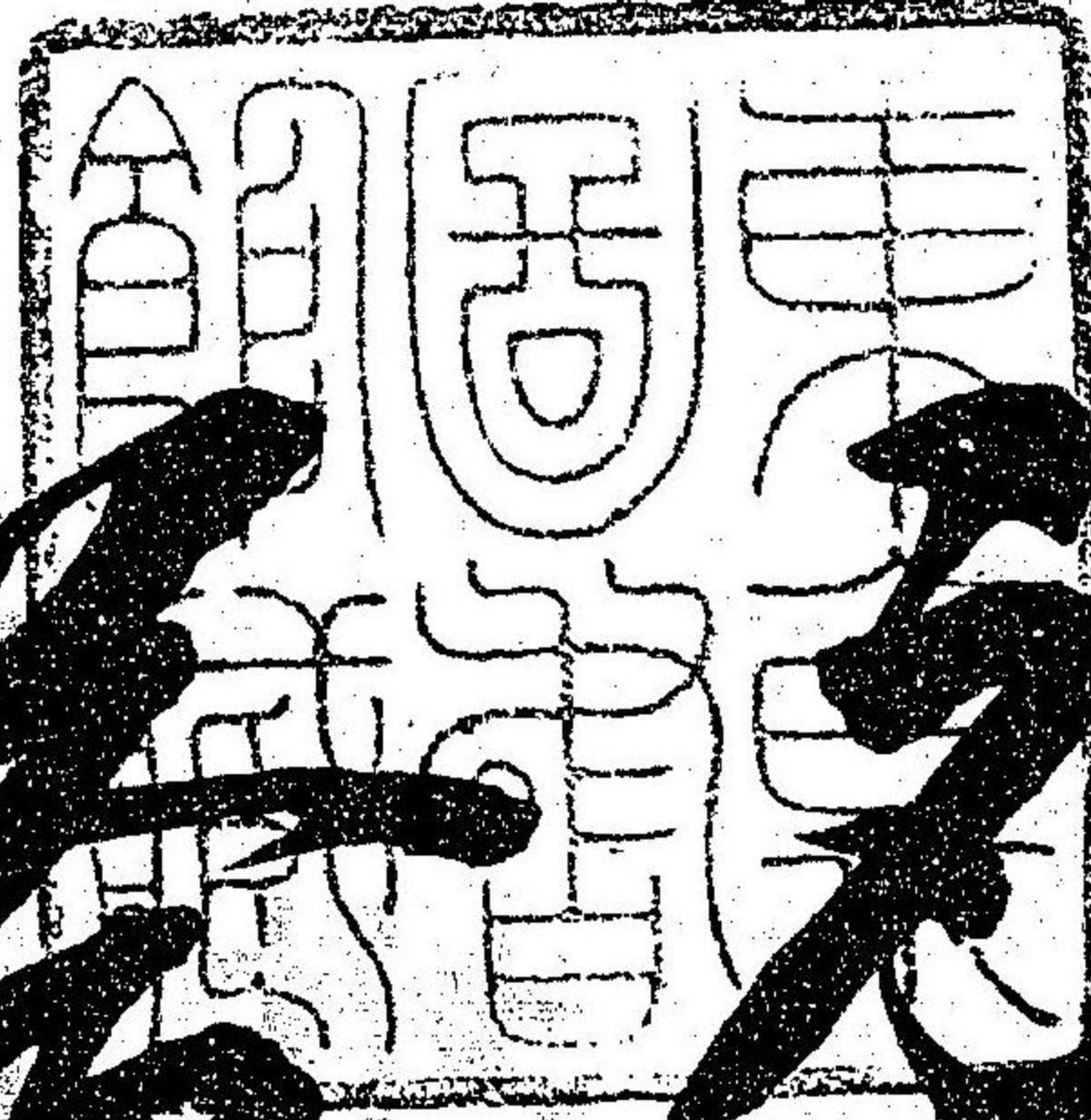
販賣所

鈴木活版所

善者

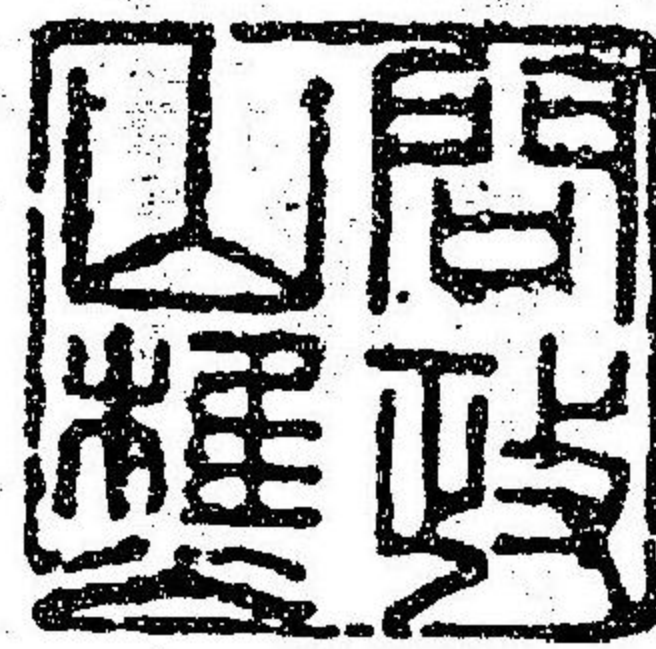
君持

因劍



CZ
671
093

明治壬辰友日
堆碧山房主人題



GZ
866
/084

序
徵兵者軍旅之基礎也基礎不
鞏固豈有好結果乎此篇係于
其事務者網羅無遺因之以研
究焉誰有不熟鍊者事務熟鍊
而徵兵確實徵兵確實而軍旅
整頓而後耀武威於海外防彼

侮慢則可置國家於富嶽安矣
且使少壯子弟自蹶起有身持
一劍答君恩是爲序

壬辰初夏於徵兵旅館之窓下

從六位 田中伸稻 撰

緒言

一本書編纂ノ旨趣ハ兵事ニ關スル法律命令ヲ執行シ之ヲ應用スル
ノ順序ヲ明晰ニシ專ラ兵事ニ關係アル諸官衙及郡市町村吏員等
執務者ノ便益ヲ謀ルニアリ明治二十七年日清交戦以來兵事ニ關
スル諸法令ノ改正頗ル頻繁ニシテ從來ノ法規ハ殆ント其用ヲナ
サ、ルニ至リシヲ以テ明治二十八年四月十五日迄ニ發布セラレ
タル諸法令ニシテ改正増補ニ係ルモノハ悉ク之ニ訂正ヲ加ヘ以
テ其全文ヲ明確ナラシム

一書中載スル所ノモノハ這回改正ナリシ徵兵令ヲ始メ徵兵事務條
例同施行細則國民軍條例同召集規則軍人恩給法並ニ陸海軍諸生
徒及諸兵召集等ニ關スル條例規則ヲ以テシ且ツ附スルニ徵兵令

ノ各條毎ニ其條項ニ關係スル省令訓令伺指令並ニ徵兵事務條例
 同施行細則ノ條項ヲ掲ケタル參照ヲ以テシ主トシテ執務者ノ便
 ニ供スルモノナリ
 一 各行目ノ間稍ヤ空白ヲ存シタル所以ハ他日改正増補ノ令アルニ
 當リ改竄訂補ニ便ナラシムルモノナリ

著 者 識

兵事提要目錄

一	徵兵令	一
二	徵兵事務條例	廿五丁
三	徵兵事務條例施行細則	六十七丁
四	國民軍條例	百十七丁
五	國民兵召集規則	百廿丁
六	國民兵召集事務準則	百三十三丁
七	海軍豫備役後備役下士卒臨時召集令	百三十四丁
八	海軍臨時召集旅費支出規定	百五十四丁
九	海軍臨時召集旅費支出規定ニ依リ出納官吏ニ係 ル件々府縣知事ニ於テ執行ノ件	百五十五丁
十	海軍豫備役後備役下士卒中寄留地又ハ乗組船舶 ノ船籍港ニ於テ召集ニ應セントスル者願届出手	

續.....百五十六丁

十一 海軍豫備兵後備兵身上異動願屆及取扱方.....百五十八丁

十二 陸軍豫備後備下士卒服役條例.....百六十丁

十三 陸軍歸休兵條例.....百六十九丁

十四 陸軍武官結婚條例.....百七十五丁

十五 海軍々人結婚條例.....百八十三丁

十六 海軍々人結婚願出手續.....百八十七丁

十七 軍人恩給法.....百八十八丁

十八 軍人恩給法施行規則.....二百十八丁

十九 陸軍々人恩給取扱手續.....二百廿五丁

二十 陸軍士官學校條例.....二百四十四丁

二十一 陸軍各兵科現役士官補充條例.....二百五十一丁

二十二 陸軍幼年學校條例.....二百六十四丁

二十三 陸軍幼年學校生徒召募條例.....二百七十二丁

二十四 陸軍一年志願兵條例.....二百七十五丁

二十五 陸軍一年志願兵條例施行細則.....二百八十七丁

二十六 陸軍教導團條例.....二百六丁

二十七 陸軍教導團生徒召募規則.....三百十二丁

二十八 陸軍志願兵身体檢查規則.....三百廿六丁

二十九 屯田兵條例.....三百廿九丁

三十 屯田兵召募規則.....三百二十三丁

三十一 屯田兵土地給與規則.....三百五十五丁

三十二 屯田兵移住給與規則.....三百五十八丁

三十三 海軍兵學校條例.....三百七十丁

三十四 海軍兵學校規則.....三百七十六丁

三十五 海軍機關學校條例.....三百八十七丁

三十六	海軍機關學校規則	四百	丁
三十七	海軍志願兵徵募規則	四百十二	丁
三十八	海軍志願兵徵募細則	四百十七	丁
三十九	海軍志願兵家族扶助金支給規則	四百二十二	丁
徵兵令第八條參看		四百二十七	丁
同	第九條同	同	丁
同	第十二條同	四百三十八	丁
同	第十三條同	同	丁
同	第十九條同	四百五十七	丁
同	第二十條同	四百六十	丁
同	第二十一條同	四百六十一	丁
同	第二十二條同	同	丁

同	第廿三條同	四百六十七	丁
同	第廿四條同	四百七十二	丁
同	第廿五條同	四百七十二	丁
同	第廿六條同	四百七十六	丁
同	第廿七條同	同	丁
同	第廿八條同	四百八十	丁
同	第廿九條同	同	丁
同	第三十三條同	四百八十一	丁
同	第三十六條同	四百八十四	丁
同	第三十七條同	四百八十六	丁
同	第三十八條同	四百八十九	丁
同	第三十九條同	四百九十一	丁
同	第四十條同	四百九十二	丁

同 第四十一條同……………四百九十三丁
 同 第四十二條同……………四百九十六丁
 同 第四十三條同……………四百九十七丁
 同 第四十四條同……………四百九十八丁
 同 第四十五條同……………五百三三丁
 同 第四十六條同……………同 丁

條例第三條參看……………五百九丁

同 第四條同……………五百十丁

同 第八條同……………五百十二丁

同 第十一條同……………同 丁

同 第十二條同……………五百十三丁

同 第十三條同……………五百十四丁

同 第十四條同……………同 丁

同 第十五條同……………同 丁

同 第十六條同……………五百十五丁

同 第十七條同……………五百十五丁

同 第十八條同……………五百十六丁

同 第二十三條同……………同 丁

同 第二十四條同……………五百十七丁

同 第二十五條同……………同 丁

同 第二十六條同……………同 丁

同 第二十七條同……………五百十八丁

同 第二十九條同……………同 丁

同 第三十條同……………同 丁

同 第三十一條同……………同 丁

同 第三十二條同.....同 丁
 同 第三十四條同.....五百十九丁
 同 第三十五條同.....同 丁
 同 第三十六條同.....同 丁
 同 第三十七條同.....同 丁
 同 第三十八條同.....五百二十丁
 同 第四十七條同.....同 丁
 同 第四十八條同.....五百二十一丁
 同 第四十九條同.....五百二十三丁
 同 第五十一條同.....五百二十五丁
 同 第五十三條同.....五百二十六丁
 同 第五十四條同.....同 丁
 同 第五十七條同.....同 丁

同 第六十一條同.....同 丁
 同 第六十二條同.....同 丁
 同 第六十四條同.....同 丁
 同 第六十九條同.....五百二十五丁

細則第四條參看.....五百二十七丁

同 第五條同.....同 丁
 同 第十條同.....同 丁
 同 第十三條同.....同 丁
 同 第十五條同.....同 丁
 同 第十七條同.....五百三十八丁
 同 第十八條同.....同 丁
 同 第二十條同.....同 丁

同 第二十二條同.....	五百二十九丁
同 第二十四條同.....	同 丁
同 第二十五條同.....	同 丁
同 第三十條同.....	同 丁
同 第三十二條同.....	同 丁
同 第二十九條同.....	同 丁
同 第四十條同.....	五百四十丁

目錄終

徵兵令

特16
301



朕徵兵令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年一月二十一日

内閣總理大臣伯爵黑田清隆
陸軍大臣伯爵大山巖
海軍大臣伯爵西郷從道

第一章 總則

第一條 日本帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總

令第一條

廿八年三
月法律第
十五號參
看

自令第二條至第五條

二

テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス

第二條 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役補充兵役及國民兵役トス

第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス

現役ハ陸軍ハ三ヶ年海軍ハ四ヶ年ニシテ滿二十歳ニ至リタル者
之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四ヶ年四ヶ月海軍ハ三ヶ年ニシテ現役
ヲ終リタル者之ニ服ス

第四條 後備兵役ハ五ヶ年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

第五條 補充兵役ハ陸軍ニ在テハ第一補充兵役第二補充兵役トシ

第一補充兵役ハ七ヶ年四ヶ月ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過
スル者ノ中所要ノ人員之ニ服シ第二補充兵役ハ一ヶ年四ヶ月ニ
シテ其年所要ノ第一補充兵員ニ超過スル者之ニ服ス又海軍ニ在
テハ一ヶ年ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者之ニ服ス

第六條 國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス

第一國民兵役ハ後備兵役及第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服シ
第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役及第一國民兵役ニ在
ラサル者之ニ服ス

令第六條

三

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スコトアルヘシ

第八條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サス

第二章 服役

第九條 陸軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應シ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ歩兵騎兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニヨリ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

海軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應シ沿海地方及島嶼ノ壯丁ヲ調査シ海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ服役スル者ハ本令ノ限ニアラス

警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁近衛師團ニ編入スル者ヲ除クハ總テ之ヲ警備隊ニ

充テ其地ニ於テ服役セシム但在營期限ハ一箇年以内トス

第十條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第十一條 抽籤番號ノ順序ニ由リ其年ノ補充兵役所要員ニ超過スル者ハ國民兵役ニ服セシム

第十二條 二十歳ニ至ラスト雖モ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スルコトヲ得

第十三條 滿十七歳以上滿二十八歳以下ニシテ官立學校小學校及理科等ノ別科ヲ除ク府縣立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書

廿二年十一月廿九號參看
第一號參看
廿六年三月廿九號參看
四月法律第三號參看

ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試驗ニ及第シ服役中食料被服裝具等ノ費用ヲ自辨シ豫備後備將校タル冀望ヲ有スル者ハ志願ニ由リ一ケ年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ニハ其幾部ヲ官給スルコトアルヘシ
一年志願兵ノ豫備役後備役年期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
滿十七歳以上滿二十八歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業證書ヲ所持シ官立公立小學校ノ教職ニ在ル者ハ六週間陸軍現役ニ服セシム其服役ニ關スル費用ハ官給トス

前項ノ現役ヲ終リタル者ハ直チニ國民兵役ニ服セシム

第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歳迄ニ其敎職ヲ罷ムル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ更ニ二ケ年間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役ニ服セシム但第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニアラス

第十四條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由リ懲罰ニ處セラレタル者ハ一年志願兵タルコトヲ許サス

第十五條 現役中殊ニ勤務ニ熟シ品行方正ナル者ハ歸休ヲ命スルコトアル可シ

第十六條 豫備兵後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度六十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ召集シ又毎年一度簡閱點呼ヲ爲ス

第十七條 第一補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補欠ニ充テ又戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス但第一補充兵ヲ以テ現役兵ノ補欠ニ充ツルハ其服役ノ初年ニ限ル

第一補充兵ハ平常ニ在テ百五十日以内教育ノ爲メ之ヲ召集ス其

他勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ

第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキ之ヲ召集ス

第十八條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限リ之ヲ召集ス

第三章 免役延期及猶豫

第十九條 兵役ヲ免スルハ癡疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照ラシ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル

第二十條 左ニ掲グル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第一 體格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ滿タサル者

第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者

第二十一條 公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲メ訊問若クハ拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十二條 徵集ニ應スルトキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍

ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興
ル故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル
者ハ其願ヲ許可セス

第二十三條 第十三條第一項ニ掲グル學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願
ニ由リ滿二十八歲迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十八歲迄ニ止ミ又
ハ二十八歲ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ
之ヲ徵集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者及
第十三條第三項ニ依リ服役スル者ハ此限ニ在ラス

外國ニ在ル者朝鮮國ニ在ル者ヲ除クハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ猶豫ス滿三十二
歲迄ニ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集シ三十二歲
ヲ過クル者ハ國民兵役ニ服セシム但第十三條第一項ニ依リ一年
志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニアラス

第二十四條 餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル官吏及市町
村長助役及收入役ハ豫備兵後備兵ニ在ルト第一補充兵ニ在ルト
ヲ問ハス勤務演習簡閲點呼ノ爲メ召集スルコトナシ
法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第四章 雜則

第二十五條 毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ又第二十三條第一項ニ當ル者ニシテ二十八歳迄ニ事故止ミ同條第二項ニ當ル者ニシテ三十二歳迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ戸主ニ非ラサル者ハ其戸主ヨリ本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歳未滿ニシテ現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス

第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テスルモノトス

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵集ス

第二十八條 兵役ヲ免レンガ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潛匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

第二十九條 服役年限ノ計算ハ現役豫備役補充役及海軍後備役ニ在テハ各其役ニ就ク年ノ十二月一日第十三條第三項ニ依リ服役スル者ノ現役年期ノ計算ハ別ニ勅令ヲ以

ヲ規定スル月ヨリ陸軍後備役ニ在テハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算ス但第七條ニ依リ延期シタルモノト雖モ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ

現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者其刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役年期ニ算入セス其豫備役年期ハ現役ヲ終ル年ヨリ起算シ陸軍ニ在テハ第六年日ノ三月三十一日迄海軍ニ在テハ第五年日ノ十一月三十日迄トス但第十條ニ依リ現役年期ヲ短縮シタルモノハ其現役ヲ短縮シタル場合ニ於ケル豫備役年期ニ應シ

本項ニ準シテ計算ス

豫備役後備役及補充役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第五章 罰則

第二十條 第二十五條ノ届出ヲ爲サ、ル者及正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潜匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐偽ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一月以上一

年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六章 附則

第三十二條 本令ハ明治二十二年一月ヨリ施行ス但二十五條ノ届出期限ハ明治二十二年限リ三月一日ヨリ同月十五日迄トス

第三十三條 本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ノ外及沖繩縣并東京府管下小笠原島ニハ漸チ以テ施行ス其時期區域及特ニ徵集ヲ免除シ若クハ猶豫スヘキモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 本令中市町村長トアルハ市制町村制ヲ實施スル迄ノ

間戸長ノコトトス

第三十五條 現今陸軍豫備役ニ在ル者ノ服役年期ハ第三條ニ依ル其後備役ニ在ル者ハ常備役年期ヲ通シテ十二ケ年四ケ月トス

第三十六條 舊令第十七條ニ依リ徵集猶豫ニ属シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十七條 舊令第十八條第二項ニ依リ徵集猶豫ニ属シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民

兵役ニ服セシム

第三十八條 舊令第十八條第七項及第二十一條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七ヶ年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十九條 舊令第十八條第三項ノ生徒ニシテ第一豫備徵員トナリ仍ホ在校ノ者ハ該徵員タルコトヲ止メ滿二十七歲迄徵集ヲ猶豫シ其事故二十七歲ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第四十條 第三十六條第三十七條第三十八條及第三十九條ニ掲クル者其事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十一條 舊令第十八條第三項若クハ第十九條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シ在校ノ者ハ其事故八箇年以内ニ止ミタルトキ又ハ八箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十二條 舊令第二十條ニ依リ補充員ト爲リタル者ハ之ヲ豫備

徵員ト爲シ一箇年間明治二十一年十二月一日ヨリ起算スニ徵集セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第四十三條 舊令第三十一條ニ依リ第一豫備徵員ト爲リ在校セサル者及舊令第三十二條ニ依リ第二豫備徵員ト爲リタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム補充員ヨリ第一豫備徵員ト爲リタル者亦同シ

第四十四條 明治十二年第四十六號布告徵兵令ニ依リ國民軍ノ外免役又ハ平時免役若クハ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ直ニ國民兵役

ニ服セシム

第四十五條 舊令第八條ニ依リ海軍兵ト爲リタル者ノ服役期限ハ同令第三條及第四條ニ依ル

第四十六條 第三十六條第三十七條第三十八條ニ掲クル徵集延期ノ者及第三十九條第四十一條ニ掲クル徵集猶豫ノ者其事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ三日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ

第十三條第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歲

迄ニ其教職ヲ罷ムル者ハ三日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ
第一項及第二項ノ届出ヲ爲サ、ル者及本令施行前舊令第三十五
條第三十六條ノ届出ヲ爲サスシテ本令施行後ニ發覺スル者ハ本
令第三十條ニ依リ處分ス可シ

徴兵令終

徴兵事務條例

朕徵兵事務條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年二月二十五日

内閣總理大臣伯爵黑田清隆
内務大臣伯爵松方正義
陸軍大臣伯爵大山巖
海軍大臣伯爵西郷從道

勅令第十三號

徵兵事務條例

第一章 徵兵區

第一條 徵兵區ハ師管旅管及大隊區又ハ警備隊區ノ區域ニ從フ

二十五年
四月勅令
第三十三
號參看

條例第一條

第二條 大隊區及警備隊區ハ更ニ之ヲ徵募區ニ分ツ

第三條 徵募區ハ一郡又ハ一市ヲ以テ一區ト爲ス

一市ニシテ二大隊區ニ分屬スルモノハ各別ニ一區ト爲ス

數郡ニ一郡役所ヲ置クモノハ數郡ヲ併セ一區ト爲ス其島廳ヲ置クモノ亦同シ

第四條 常備歩兵各聯隊ノ兵員ハ其旅管内最寄ニ大隊區ヨリ其他

ノ兵員ハ其師管ヨリ徵集ス

近衛歩兵隊ノ兵員ハ各師管ヨリ其他ノ兵員ハ第一師管ヨリ徵集

廿七年十一月廿九日
勅令第六百九十六號
參看
廿八年三月三十號
第三十號

ス

警備隊ノ兵員ハ其警備隊區ヨリ徵集ス

海軍兵員ハ各師管内沿海及島嶼ヲ包括スル大隊區ヨリ徵集ス

本條第一項第二項ニ依リ要員ヲ充タシ能ハサルトキハ他ノ大隊區若クハ他ノ師管ヨリ其不足ヲ補充スルコトヲ得

第二章 徵兵官

第五條 徵兵官ハ總理徵兵官師管徵兵官旅管徵兵官大隊區徵兵官

及警備隊區徵兵官トス

第六條 總理徵兵官ハ内務大臣及陸軍大臣ヲ以テ之ニ充テ全國徵兵ノ事ヲ統轄ス

第七條 師管徵兵官ハ師管内府縣毎ニ師團長及府縣知事ヲ以テ之ニ充テ師團長ヲ首座トシ其管内府縣徵兵ノ事ヲ統轄ス

第八條 旅管徵兵官ハ旅管内府縣毎ニ旅團長及府縣書記官ヲ以テ之ニ充テ旅團長ヲ首座トシ其管内府縣徵募事務ヲ執行ス

第九條 大隊區徵兵官ハ大隊區内徵募區毎ニ大隊區司令官及島司若クハ郡市長ヲ以テ之ニ充テ警備隊區徵兵官ハ警備隊區司令官

及島司若クハ郡長ヲ以テ之ニ充テ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ヲ首座トシ其區内徵募準備事務ヲ執行ス

第十條 第八條第九條ニ掲クル徵兵官ノ外旅管内府縣毎ニ旅管徵兵參事員大隊區内徵募區毎ニ大隊區徵兵參事員警備隊區内徵募

區毎ニ警備隊區徵兵參事員ヲ置ク

第十一條 旅管徵兵參事員及大隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵

參事員ハ徵兵令第二十二條ニ當ル徵集延期及徵集免除ニ關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス但徵兵官ノ裁決

ニ付可否ヲ議スルノ權ナキモノトス

第十二條 旅管徵兵參事員ハ府縣名譽職參事會員ヲ以テ之ニ充テ
大隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ郡市名譽職參事會
員ヲ以テ之ニ充ツ但府ニ在テハ其府名譽職參事會員ニ於テ郡市
部各二名ヲ互選シ市ニ在テハ其市名譽職參事會員ニ於テ四名ヲ
互選シ之ヲ定ム

島廳ヲ置ク島嶼ノ大隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ
島司ニ於テ各町村會議員中ヨリ四名ヲ選ヒ府縣知事ノ認可ヲ得
テ之ヲ命ス其任期ハ町村會議員ノ任期ニ依ル

第十三條 旅管徵兵參事員及大隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵
參事員ハ互ニ兼ヌルヲ得ス

郡市參事會員ヲ兼ヌル府參事會員ニシテ互選ニ當リタル者又ハ
縣參事會員ニシテ郡市參事會員ヲ兼ヌル者ハ旅管徵兵參事員ニ
充ツ此ノ場合ニ於テ郡ノ大隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參
事員ノ缺員ハ郡制第四十八條ニ依リ補充員ノ内ヨリ之ヲ補缺ス
可シ

第十四條 每年徵募事務及徵募準備事務執行中ハ旅管徵兵醫官及大隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ヲ置ク

旅管徵兵醫官ハ旅管内徵兵身體検査ニ係ル事ヲ總管シ大隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ハ徵兵身體ノ検査ニ從事ス

第十五條 旅管徵兵醫官ハ陸軍二等軍醫正一名ヲ以テ之ニ充テ大隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ハ陸軍一二三等軍醫一名ヲ以テ之ニ充ツ

第十六條 每年徵募事務及徵募準備事務執行中ハ旅管徵兵署事務員旅管徵兵署事務補助員及大隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員ヲ置ク

旅管徵兵署事務員ハ旅管徵兵署一般ノ事務ヲ掌理シ旅管徵兵署事務補助員及大隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員ハ該徵兵署ノ庶務ニ從事ス

第十七條 旅管徵兵署事務員ハ旅團副官一名府縣兵事擔任ノ課長ヲ以テ之ニ充テ旅管徵兵署事務補助員ハ旅團書記一名府縣屬若干名及島廳郡市書記各一名ヲ以テ之ニ充テ大隊區徵兵署事務員

又ハ警備隊區徵兵署事務員ハ大隊區書記又ハ警備隊區書記一名
島廳書記又ハ郡市書記一名若クハ二名ヲ以テ之ニ充ツ

第十八條 毎年徵募準備事務執行中ハ地方醫師若干名ヲ以テ徵兵
醫官補助員トシ府縣知事ノ選ヲ以テ之ヲ命ス徵兵醫官補助員ハ
徵兵醫官ノ指揮ヲ受ケ身體檢査ノ事ヲ補助ス

第三章 配賦

第十九條 毎年徵集ス可キ現役兵及補充兵ノ員數ハ勅令ヲ以テ之
ヲ定ム

本條ハ削
除

第二十條

第二十一條 師團長ハ第十九條ノ勅令ニ基キ現役兵及補充兵ノ要
員ヲ各旅管ニ旅團長ハ之ヲ各大隊區ニ大隊區司令官ハ之ヲ各徵
募區ニ配賦ス

第二十二條 現役兵及補充兵ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ
以テ之ヲ定ム

第四章 徵募準備

第二十三條 町村長ハ毎年戸籍簿ニ據リ徵兵適齡者ヲ取調ヘ徵兵

令第二十五條ノ屆書ニ照較シ壯丁名簿ヲ作り二月十五日迄ニ島司又ハ郡長ニ差出シ島司郡長ハ點檢ノ後之ヲ一徵募區ニ取纏メ前年假決ノ諸名簿ト共ニ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ提出ス可シ

市長ハ前項ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ大隊區徵兵署ニ提出ス可シ

第二十四條 毎年徵募準備事務執行ノトキハ各徵募區ニ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ヲ設ク

土地廣濶壯丁多數ノ徵募區ニ在テハ數箇ノ徵兵檢査所ヲ設クルコトヲ得

第二十五條 大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ハ島司郡市長ニ協議シ徵兵署及檢査所巡回日割ヲ定メ之ヲ旅管徵兵官ニ申報ス可シ

島司郡市長ハ檢査ノ日時徵兵署及檢査所設置ノ場所ヲ豫メ其管内ニ告示ス可シ

第二十六條 兵役ノ適否ヲ定ムル爲メ大隊區徵兵署又ハ警備隊區

徵兵署及検査所ニ於テ壯丁ノ身體検査ヲ行フ其検査ハ徵兵官及
徵兵參事員ノ面前ニ於テスルモノトス

若シ兵役ノ適否判定シ難キ者アルトキハ他ノ徵兵署又ハ検査所
ニ於テ其検査ヲ續行スルコトヲ得

第二十七條 大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ハ壯丁ノ身體検査
ノ事ヲ監督シ兵種ノ選定ニ任ス

第二十八條 島司郡市長ハ徵集延期及徵集猶豫ニ關スル書類ノ調
査及事實ノ審覈ニ任ス

第二十九條 壯丁ノ身體検査終ルトキハ大隊區徵兵官又ハ警備隊
區徵兵官ハ徵兵検査名簿徵集延期名簿及徵集猶豫名簿ヲ作ル可
シ

第三十條 大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ徵集ヲ延期シ
又ハ徵集ヲ猶豫ス可キモノト裁決シタルトキハ各其證書ヲ附與
ス

第三十一條 徵募準備事務終ルノ後大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵
兵官ハ検査名簿其他終決ヲ受ク可キ書類ヲ取纏メ旅管徵兵官ニ

差出ス可シ但徵集延期及徵集猶豫ニ属シタル者ハ其人員ヲ旅管
徵兵官ニ報告シ其名簿ハ島司郡市長之ヲ保管スヘシ

第五章 徵募

第三十二條 每年徵募事務執行ノトキハ旅管内府縣毎ニ旅管徵兵
署ヲ設ク

第三十三條 旅團長ハ府縣書記官ニ協議シ徵兵署巡回日割ヲ定メ
之ヲ師管徵兵官ニ申報シ又之ヲ大隊區司令官又ハ警備隊區司令
官ニ達スヘシ

府縣書記官ハ抽籤ノ日時及徵兵署設置ノ場所ヲ島司又ハ郡市長
ニ達シ島司郡市長ハ豫メ之ヲ管内ニ告示スヘシ

第三十四條 身體検査ニ合格シタル壯丁ハ徵集順序ヲ定ムル爲メ
徵募區毎ニ體格ノ等位及兵種ヲ分テ旅管徵兵署ニ於テ抽籤ヲ行
フ

抽籤ハ旅管徵兵官旅管徵兵參事員及大隊區徵兵官又ハ警備隊區
徵兵官ノ面前ニ於テ抽籤總代人之ヲ爲スモノトス
抽籤總代人ハ籤丁ノ選ヲ以テ徵募區毎ニ二名若クハ三名ヲ出ス

モノトス

第三十五條 旅管徵兵官ハ總代人ノ抽キタル籤番號ノ順序ニ依リ
抽籤名簿二本ヲ作り其一本ハ之ヲ島司郡市長ニ交付スヘシ

第三十六條 抽籤終ルトキハ旅管徵兵官ハ當籤番號ノ順序ニ從ヒ
現役兵徵募及補充兵編入ノ處分ヲ爲シ其他ハ大隊區徵兵官又ハ
警備隊區徵兵官ヨリ差出シタル書類ニ就キ終決ノ處分ヲ爲シ現
役兵名簿補充兵名簿徵集免除名簿及兵役免除名簿ヲ作ル可シ

第三十七條 旅管徵兵署ニ於テ終決ノ處分ヲ爲シタル者徵集免除ノ者ヲ除ク

ニハ各其証書ヲ附與ス

第三十八條 徵募事務終ルトキハ旅團長ハ旅管徵兵事務報告書及
徵兵表ヲ作り師團長ニ差出シ又現役兵名簿ヲ各隊ニ交付シ抽籤
名簿及補充兵名簿ヲ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ交付ス
ヘシ

近衛新兵名簿ハ近衛師團長ニ海軍現役兵名簿ハ鎮守府司令長官
ニ送致ス可シ

徵集免除名簿及兵役免除名簿ハ府縣廳ニ備置ク可シ

第三十九條 師團長ハ師管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り陸軍大臣ニ差出シ陸軍大臣ハ全國徵兵表ヲ作り奏上ス可シ

第六章 裁決

第四十條 裁決ハ分テ假決及終決ノ二種トス

第四十一條 假決ハ徵集延期及徵集猶豫ノ事ヲ裁決シ終決ハ現役兵徵募補充兵編入徵集免除ノ事ヲ裁決ス

第四十二條 假決ハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ爲シ終決ハ旅管徵兵官之ヲ爲ス

第四十三條 壯丁若クハ其家族ニ於テ徵兵令第二十二條ニ關スル大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ旅管徵兵官ニ旅管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ師管徵兵官ニ師管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ總理徵兵官ニ訴願スルコトヲ得但訴願ノ爲メニ裁決ノ執行ヲ停止セス

本條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲ス可シ其期日ヲ過クルモノハ受理セス

第四十四條 徵兵官ノ裁決ニ對シ訴願スル者ハ其裁決ヲ爲シタル

徵兵官ニ其由ヲ届出可シ

第四十五條 第四十三條ノ訴願ヲ爲サントスル者ハ其願書ニ同徵募區内其年徵集ニ應ス可キ壯丁ノ戸主三名ノ保証書ヲ添フ可シ
第四十六條 徵兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許サス

第七章 現役兵及補充兵

第四十七條 現役兵入營期日ハ毎年十二月一日トス但疾病犯罪其他ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キ者ハ同月三十一日迄ニ

入營セシム

警備隊諸兵及輜重輸卒ノ入營期日ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第四十八條 現役兵入營ノトキハ先ツ大隊區司令部若クハ便宜ノ

地ニ召集シ入營兵引率員之ヲ入營地ニ引率シ大隊區司令部所在ノ入營地ニ在テハ大隊區司令部

令官ヨリ直ニ當該隊長ニ交付ス但入營兵五人未滿ナルトキハ直ニ入營

地ニ單行セシム

近衛現役兵及海軍現役兵ハ其集合地ニ引率シ入營兵受領員ニ交付スルモノトス但入營兵引率員出發後到着シタル者ハ直ニ入營

地ニ單行セシム

第四十九條 現役兵入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ於テ十四日以内ノ延期ヲ許ス可シ

其延期ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長ノ奧書證印ヲ受ケ其父母疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ差出スヘシ

第五十條 現役兵入營前ハ第四條ノ區域外ニ轉籍戶籍上本人ノ出入モ皆同シスルモ所屬隊籍ヲ變更セス

徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回リト爲リタル者ハ身體檢査ヲ行ヒ更ニ隊籍ヲ定ムルモノトス但第四條ノ區域外ニ轉籍シタル者ハ其地ニ於テ身體檢査ヲ行ヒ隊籍ヲ定ム

第五十一條 現役兵入營前死亡シ若クハ疾病犯罪其他ノ事故ニ由リ十二月三十一日迄ニ入營シ難シト認メタル者又ハ入營ノ後翌年一月三十一日前ニ死亡シタル者若クハ常備後備ノ服役及永久服役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ其徵募區ヨリ同兵種ノ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ抽籤番號ノ順序ニ從ヒ召集シ若シ其徵募區

ヨリ召集スルコト能ハサルトキハ大隊區内他ノ徵募區ヨリ補フ
其配賦ハ各徵募區補充兵ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 現役兵入營前癘疾又ハ不具ト爲リ永久兵役ニ堪ヘ難

キ者アルトキハ旅團長ニ於テ兵役ヲ免ス但徵兵令第二十七條ニ
當リ翌年回ト爲リタル者其ノ年徵募事務終結前ハ此ノ限ニ在ラ

ス

第五十三條 現役兵入營前徵兵令第二十二條ニ當ルヘキ事故ノ生
スルトキハ本人ノ願ニ由リ旅團長ニ於テ徵集ヲ延期ス

其願書ニハ同徵募區内其年徵集ニ應ス可キ現役兵ノ戸主二名ノ
保證書ヲ添ヘ島司郡市長及大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ヲ
經テ旅團長ニ差出ス可シ

但町村ニ在テハ町村長ノ奥書證印ヲ受クヘキモノトス

島司郡市長ハ其事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ大隊區司
令官又ハ警備隊區司令官ニ送付ス可シ

第五十四條 現役兵入營前及補充兵

補充員証書附與後其年十一月三十日以前ノ者モ含有ス以下皆同シ 轉

籍シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可

シ但監視區外ニ係ルトキハ新舊住地所管ノ監視區長ニ届出可シ
其轉籍大隊區外ニ係ルトキハ舊住地大隊區司令官ヨリ新住地大
隊區司令官ニ通報ス可シ

本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ
處ス

第五十五條 新兵入營前寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サント
スルトキハ徵集ノ命アルトキ之ヲ通報ス可キ者ヲ定メ市町村長
ヲ經テ監視區長ニ届出可シ其復歸シタルトキ亦届出可シ

本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ
處ス

通報人正當ノ事故ナクシテ徵集ノ命ヲ通報セス若クハ其通報ヲ
遲緩シタルトキハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料又ハ一日以
上十日以下ノ拘留ニ處ス

第五十六條 第一補充兵及海軍補充兵ハ他ノ徵募區ニ轉籍スルモ
現役兵補缺ノ爲ニハ舊徵募區ノ召集ニ應セシム

第八章 雜則

第五十七條 徵兵令第十二條ニ依リ現役ニ服センコトヲ志願スル者ハ其願書ニ戸主或ハ後見人連署シ身元證書ヲ添ヘ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ九月一日以前自己ノ服役セント欲スル軍隊又ハ鎮守府ニ願出テ許可ヲ受ク可シ但軍隊又ハ鎮守府遠隔ノ地ニ居住ノ者ハ徵兵検査ノ際大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署若クハ徵兵検査所ニ申立テ身體検査ヲ受ケ合格ノ者ハ合格證書ヲ添ヘ願出ルコトヲ得

検査ノ爲メ往復ノ旅費及入營旅費ハ自辨トス

第五十八條 前條服役ノ許可ヲ受ケタル者ハ入營前本籍ノ市町村長ニ届出可シ

第五十九條 徵兵令第二十二條ニ當ル者ハ同徵募區内其ノ年ノ徵集ニ應ス可キ壯丁ノ戸主二名ノ保證書第二十三條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ證明書同條第二項ニ當ル者ハ公使又ハ領事ノ證明書ヲ以テ三月一日迄ニ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出可シ但徵兵令第二十二條ニ當リ其事故繼續シテ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ本條ノ保證書ヲ添ヘ届出可シ

其願書及屆書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受ク可キモノトス

第六十條 徵兵令第二十三條第一項ノ事故止ミタル者ノ屆書及同條第二項ノ歸朝シタル者ノ屆書ハ町村長ヨリ其ノ年ノ壯丁名簿進達前ニ在テハ其ノ名簿ト共ニ進達後ニ在テハ三日以内ニ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ差出ス可シ但市長ニ在テハ本文ノ屆書ヲ大隊區徵兵署開設ノトキ同署ニ提出ス可シ

第六十一條 他ノ徵募區ニ寄留シ其地ニ於テ身體檢査ヲ受ケンコトヲ冀望スル者ハ三月一日迄ニ島司又ハ郡市長ニ願出可シ

島司又ハ郡長ニ差出ス願書ニハ本籍地町村長ノ與書證印ヲ受ク可キモノトス

島司郡市長其ノ願ヲ許可シタルトキハ之ヲ本人寄留地ノ島司郡市長ニ通知ス可シ

本條ノ願出已ムヲ得サル事故ノ爲メ三月一日ヲ過クルモノハ島司郡市長ヨリ本人寄留地ノ島司郡市長ニ協議シ徵募上故障ナキモノニ限り許可ス可シ

第六十二條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ身體ノ檢査ヲ受ク難キ者及

一年志願兵出願中ノ者ハ書面ヲ以テ検査當日迄ニ島司又ハ郡市長ニ届出可シ其疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フ可シ島司又ハ郡長ニ差出ス届書ニハ町村長ノ奥書證印ヲ受ク可キモノトス

本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十三條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ監視區長ヲ經テ大隊區司令官又ハ警備

隊區司令官ニ届出可シ其疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フ可シ

其届書ニハ市町村長ノ奥書証印ヲ受ク可キモノトス

本條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十四條 徵兵署及徵兵検査所ノ諸費壯丁及抽籤總代人ノ旅費現役兵入營ノ旅費徵兵參事員ノ手當金旅費徵兵醫官補助員ノ給料旅費ハ官給ス

第六十五條 現役中疾病或ハ傷瘻ニ依リ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ハ師團長又ハ鎮守府司令長官ニ於テ兵役ヲ免ス其一時服役ニ堪ヘ難キ者ハ豫備役ニ編入シ現役年期ヲ通シテ陸軍ニ在テハ七箇年四箇月海軍ニ在テハ七箇年間服役セシム
其疾病傷瘻ニ依リ常備後備ノ服役ニ堪ヘ難キ者ハ國民兵ニ編入ス
陸軍現役兵ニシテ一時服役ニ堪ヘ難キ者軍隊第二期ノ教育ヲ卒ラサル前ニ在テハ第一補充兵ニ編入シ現役年期ヲ通シテ七箇年

四箇月間服役セシム

第六十六條 現役中徵兵令第二十二條ニ當ル可キ事故ノ生スルトキハ其家族ノ願ニ由リ師團長又ハ鎮守府司令長官ニ於テ現役ヲ免シ豫備役ニ編入シ現役年期ヲ通シテ陸軍ニ在テハ七箇年四箇月間海軍ニ在テハ七箇年間服役セシム但陸軍現役兵ニシテ軍隊第二期ノ教育ヲ卒ラサル前ニ在テハ第一補充兵ニ編入シ現役年期ヲ通シテ七箇年四箇月間服役セシム
其願書ニハ同徵募區内現役兵ノ戸主二名ノ保證書ヲ添ヘ島司郡

市長大隊區司令官又ハ警備隊區司令官及旅團長ヲ經テ師團長又ハ鎮守府司令長官ニ差出ス可シ但町村ニ在テハ町村長ノ與書証印ヲ受ク可キモノトス

島司郡市長ハ其事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ送附ス可シ

第九章 附則

第六十七條 北海道廳管下其他島嶼ニ於テ本條例中ノ條規ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長地方長官協議ノ上適宜ノ方法ヲ

設クルコトヲ得

第六十八條 徵兵令ヲ施行セサル地ニ寄留ノ者ハ寄留地最寄ノ徵募區ニ於テ身體檢査ヲ受クルコトヲ得

第六十九條 徵兵令ヲ施行セサル地ヨリ施行ノ地ニ轉籍シタル者ハ其年又ハ翌年ノ徵集ニ應セシム但年齡二十六歳ヲ過クル者ハ此限ニアラス

第七十條 本條例中市長ノ職務ハ市制ヲ實施スル迄ハ區長ニ於テ町村長ノ職務ハ町村制ヲ實施スル迄ハ戸長ニ於テ行フ可シ

第七十一條 第三條ノ徵募區ハ市制ヲ實施スル迄ハ區ノ境域ニ依ル

第七十二條 明治二十二年ニ限り第二十三條ノ壯丁名簿差出期限及第六十二條ノ願出期限ハ四月十五日迄トシ第六十三條ノ願出期限ハ三月一日ヨリ同月十五日迄トス

第七十三條 第十條ノ旅管徵兵參事員ハ未タ府縣制ヲ施行セサル府縣ニ在テハ府縣會常置委員ニ於テ四名ヲ互選シ當選ノ者ヲ以テ之ニ充ツ

大隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ未タ郡制ヲ施行セサル郡ニ在テハ其郡内ニ於テ四名ヲ選舉シ當選ノ者ヲ以テ之ニ充ツ其選舉人被選舉人資格選舉ノ方法及任期ハ總テ府縣會議員ノ例ニ依ル

附則

現今ノ豫備徵員ハ從前ノ規定ニ據ル

徵兵事務條例終

徵兵事務條例施行細則

陸軍省令第一號

徴兵事務條例施行細則左ノ通定ム

明治二十二年二月二十八日

陸軍大臣伯爵大山巖

徴兵事務條例施行細則

第一條 條例第二十三條ノ壯丁名簿ハ附録第一様式ニ依リ之ヲ作

リ一市一町村ヲ一冊ト爲シ冊尾ニ其人員ノ總計ヲ記シ市町村長
之ニ署名押印ス可シ

第二條 徴兵令第八條及第二十五條但書ニ當ル者ハ市町村長之ヲ

廿七年十
二月省令
第二十四
號參看
廿八年四
月省令第
四號參看

調査シ人名書各事項ヲ頭書スヲ作り壯丁名簿ニ添付スヘシ

第三條 條例第二十五條ノ徵兵署及徵兵検査所巡回日割ヲ定ムル爲メ島司郡市長ハ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ヲ調査シ其人員ヲ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ報告ス可シ

第四條 大隊區徵兵署警備隊區徵兵署及徵兵検査所ハ島司郡市長ニ於テ適當ノ家屋ヲ選定シ要スレハ吏員ヲ派シテ豫メ準備シ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官到着ノ上之ヲ開設ス可シ
徵兵検査所ハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官豫メ旅管徵兵官

廿五年四月省令第七號參看

ヲ經テ師管徵兵官ノ認可ヲ受ケ一箇所概テ壯丁百人以上一日間ニ往復ヲ爲シ得ル里程内ノ地ニ設ク可シ

徵兵署ヲ甲地ヨリ乙地ニ移轉ヲ要スルトキ亦前項ノ例ニ依ル
第五條 大隊區徵兵署警備隊區徵兵署及徵兵検査所巡回日割既ニ定マルトキハ島司郡市長ハ其徵募區内ニ於テ毎日検査ヲ受ク可キ壯丁ノ順序ヲ定メ之ヲ壯丁ニ達シ當日ニ至レハ市町村吏員ヲシテ壯丁ヲ引纏メ徵兵署又ハ徵兵検査所ニ出頭セシム可シ
第六條 壯丁ノ身體検査ヲ行フトキハ島廳書記郡市書記ハ壯丁ヲ

呼出シ軍醫ハ徵兵検査規則ニ依リ身體ヲ検査シ體格ノ等位其他
所要ノ件ヲ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ニ記入シ大隊區司令官
又ハ警備隊區司令官ニ差出スヘシ

第七條 身體検査ヲ行フニ當リ壯丁ヲシテ裸體ナラシムルトキハ
勉メテ別室若クハ隔障内ニ於テス可シ

第八條 身體検査ノ際現役ニ服センコトヲ志願スル者アルトキハ
大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ本人ノ身元ヲ調査シ其景況
書ヲ添ヘ旅管徵兵官ニ具申ス可シ

其志願者ハ體格甲種ニシテ身元確實ト認ムル者ハ旅管徵兵官ニ
於テ之ヲ許可スルコトヲ得

第九條 身體検査終ルノ後大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ籤
丁ヲシテ抽籤總代人ヲ選ハシメ其人名ハ旅管徵兵官ニ報告ス可
シ

第十條 徵兵令第二十條第二十一條及第二十二條ニ依リ徵集延期
ニ屬シ第二十三條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者ハ大隊區徵兵署又
ハ警備隊區徵兵署ニ於テ附録第二様式ニ依リ徵集延期證書徵集

猶豫證書ヲ作り市ハ市長ヨリ本人ニ附與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ附與セシムヘシ

徵兵令第二十二條ノ願ヲ許可セサル者ニハ其裁決書ヲ前項ノ例ニ依リ本人ニ附與スヘシ

第十一條 陸軍諸兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ

- 一 歩兵ハ身體強健ニシテ能ク勞力及遠足ニ堪ユル者
- 二 騎兵ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ體格ハ輕捷ニシテ筋肉肥

滿ニ過キサル者

- 三 砲兵ハ體力強大ニシテ視力清明ナル者
- 四 工兵ハ成ルヘク工兵ノ作業ニ適當シ膂力アル者
- 五 輜重兵及輜重輸卒ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ且膂力アル者

六 職工ハ成ルヘク其職ニ從事セシ者

第十二條 海軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ

- 一 水兵ハ成ルヘク帆、錨、艇、櫓等ノ使用ニ慣レタル者

二 火夫ハ成ルヘク瀧機、瀧罐ノ取扱又ハ火焚ノ業ニ慣レタル者

三 職工及雜卒ハ成ルヘク各其職類似ノ業ニ慣レタル者

第十三條 條例第二十九條ノ徵兵検査名簿徵集延期名簿及徵集猶豫名簿ハ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ヲ以テ編綴スヘシ但徵兵検査名簿ハ種類ヲ分テ之ヲ編綴シ册尾ニ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官署名押印シ旅管徵兵官ニ差出スヘシ
公權停止中若クハ逃亡失踪等ノ爲メ其年徵集スルコト能ハサル

廿六年五月省令第七號參看

壯丁ハ徵集延期名簿ニ一年志願兵出願中及認可ヲ受ケタル者六週間現役ニ服スヘキ者ハ徵集猶豫名簿ニ編入シ各假決ノ區畫ニ其事由ヲ記スルモノトス

第十四條 大隊區ニ於テ師團歩兵聯隊ノ配賦人員ヲ充スコト能ハサルトキハ大隊區司令官ヨリ之ヲ旅團長ニ具狀シ旅團長ハ他ノ大隊區同兵種ノ人員ヲ調査シ殘餘アルトキハ先ツ之ヲ以テ其缺ヲ補ヒ仍ホ不足スルトキ他ノ最寄二箇ノ大隊區ニ配賦スヘシ其配賦ノ法ハ條例第二十二條ノ例ニ依ル

旅管内ニ於テ要員ヲ充タシ能ハサルトキハ旅團長ヨリ師團長ニ具狀シ師團長ハ他ノ旅管ヨリ其ノ缺ヲ補ヒ仍ホ不足スルトキハ陸軍大臣ニ具狀ス可シ

第十五條 徵兵令第二十二條ニ當リ其事故繼續シテ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル旨届出ル者アルトキハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ大隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ニ審議セシメ其意見書ニ自己ノ意見ヲ付シ旅管徵兵官ニ差出スヘシ

第十六條 徵兵令第二十三條ニ據リ徵集猶豫ニ属スル者ハ身體ノ

検査ヲ行ハス

第十七條 疾病傷痕又ハ犯罪等ノ爲メ身體検査ニ出頭セサル者及身體検査未済ノ徵募區ヨリ轉入ノ者アルトキハ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ハ其狀況ニ依リ他ノ徵募區ノ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署若クハ徵兵検査所ニ出頭セシメ若クハ翌年ノ検査ニ回スヘシ但疾病傷痕ノ者ハ時宜ニ由リ其家ニ就キ検査スヘシ

第十八條 旅管徵兵署ハ府縣書記官ニ於テ適當ノ家屋ヲ選定シ要

スレハ吏員ヲ派シテ豫メ準備シ旅團長到着ノ上開設スヘシ

第十九條 抽籤施行ニ先ダテ旅管徵兵署ニ於テ合格者ノ人員ヲ調査シ徵募區毎ニ兵種及甲乙兩種ニ分テ籤札ヲ作ルヘシ
籤ノ番號ハ甲乙兩種各合格者ノ數ニ應シ第一番ヨリ起ヌテ例トス然レトモ抽籤ノ列ニ加ヘサル者アルトキハ現役ニ編入スルノ順序ヲ定ムル爲メ之ニ首位ノ番號ヲ附着シ其次番號ヨリ籤番號ヲ起ス可シ

第二十條 籤札ハ附錄第三樣式ニ依リ之ヲ作り籤箱ニ納レ之ヲ封

鎖シ旅管徵兵官旅管徵兵參事員及大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官列席ノ前ニ置キ其封ヲ披キ旅管徵兵署事務補助員籤丁名簿ノ順序ニ氏名ヲ呼ビ抽籤總代人ニ之ヲ抽カシム

第二十一條 條例第二十五條ノ抽籤名簿ハ附錄第四樣式ニ依リ之ヲ作り冊尾ニ旅管徵兵官署名押印ス可シ

第二十二條 抽籤總代人ハ抽ク所ノ番號ヲ高聲ニ呼ビ其籤札ヲ旅管徵兵署事務補助員ニ渡シ島廳書記郡市書記ハ之ヲ籤丁名簿氏名ノ頭ニ貼付シ割印ヲ押シ一人毎ニ之ヲ截テ切り總代人ニ交付

ス可シ

第二十三條 甲乙兩種合格者ハ左ニ掲クル順序ニ從ヒ現役兵及補充兵ニ編入シ其要員ニ超過スル者ハ徵集ヲ免除ス

一 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者二人以上ナルトキハ年齢ノ順序(同年齡ノ者ハ誕生日ノ順序)ニ從フ第二項第三項第四項第六項第七項第八項亦同シ

二 甲種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

三 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者

四 甲種合格者ニシテ現役志願ノ者

五 甲種合格者ニシテ抽籤ノ者番號ノ順序ニ從フ第九項亦同シ

六 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者

七 乙種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者

八 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者

九 乙種合格者ニシテ抽籤ノ者

第二十四條 抽籤終ルトキハ旅管徵兵署ニ於テ附錄第五第六様式

ニ依リ現役兵證書補充兵證書及兵役免除證書ヲ作り市ハ市長ヨリ本人ニ附與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ附與セシム可シ

徵集免除ニ屬シ國民兵役ニ服スル者ハ別ニ證書ヲ附與セス市町村長ヲシテ其由ヲ本人ニ達セシム可シ

本則第十五條ニ當ル者ノ中徵集免除ニ屬セサル者アルトキハ其裁決書ヲ第一項ノ例ニ依リ本人ニ附與ス可シ

第二十五條 條例第三十六條ノ現役兵名簿補充兵名簿徵集免除名

簿及兵役免除名簿ハ徵兵検査名簿ヲ以テ編綴シ種類ヲ分チ册尾ニ旅管徵兵官署名押印ス可シ

第二十六條 條例第三十八條ノ徵兵表ハ附録第七様式ニ依リ之ヲ作ル可シ

第二十七條 壯丁名簿進達前市ニ在テハ調製前他ノ市町村ニ轉籍スル者アルトキハ市町村長ヨリ本人徵兵適齡届書ヲ添ヘ轉籍地ノ市町村長ニ通知ス可シ

第二十八條 壯丁名簿進達後検査前名簿ニ關スル異動ヲ生シタル

者若クハ他ノ市町村ヨリ入籍シタル者アルトキハ町村長之ヲ島
司又ハ郡長ニ報告ス可シ但検査後抽籤前ニ係ルモノハ島司又ハ
郡長ヲ經テ旅管徴兵官ニ報告ス可シ

市ニ在テ検査名簿進達後抽籤前々項ニ當ル者ハ市長之ヲ旅管徴
兵官ニ報告スヘシ

現役兵入營前及補充兵ノ名簿ニ關スル異動轉入籍ヲ除クハ市町村長ヨ
リ監視區長ニ通知ス可シ

第二十九條 壯丁名簿受領後市ニ在テハ調製後抽籤前徵募區外ニ轉籍スル者

アルトキハ島司郡市長ヨリ壯丁名簿若クハ検査名簿ヲ添へ轉籍
地ノ島司又ハ郡市長ニ通知ス可シ

其異動轉籍地ノ抽籤後ニ係ルトキハ次年ニ於テ假決若クハ終決
ノ處分ヲ爲ス可シ

第三十條 徵兵令第二十條第二十一條第二十二條第二十三條及第

二十七條ニ當リ徵集延期徵集猶豫若クハ入營延期翌年回中名簿

ニ關スル異動ヲ生スル者アルトキハ島司郡市長ニ於テ其名簿ニ
訂正ヲ加フ可シ但郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長其異動ヲ島司又ハ

郡長ニ報告ス可シ

他ノ徵募區ニ轉籍スル者ハ島司郡市長ヨリ徵集延期名簿若クハ徵集猶豫名簿ヲ添へ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知ス可シ

本條ハ削除

第三十一條

第三十二條 徵兵令第十三條第五項及條例第六十九條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ戸籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り島司又ハ郡長ニ差出ス可シ
市ニ在テハ市長壯丁名簿ヲ作り大隊區徵兵署ニ提出ス可シ

第三十三條 現役兵入營ノ期ニ先タナ大隊區司令官ニ於テ入營地

若クハ近衛海軍入營兵集合地ニ到ル日數ヲ量リ召集ノ場所及日時ヲ定メ島司又ハ郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ各自ニ達ス可シ

大隊區外ニ轉籍シタル者ニ在テハ舊住地大隊區司令官ヨリ其召集ノ場所及日時ヲ新住地大隊區司令官ニ通報シ新住地大隊區司令官ハ前項ノ手續ニ依リ之ヲ各自ニ達ス可シ

第三十四條 條例第四十八條ノ入營兵引率員及近衛、海軍新兵受領員ハ左ノ如シ

入營兵引率員

入營兵五人以上三十人迄

大隊區書記一名

入營兵三十一人以上百人迄

大隊區書記一名上等兵一名若

クハ二名

入營兵百一人以上二百人迄

大隊區副官一名下士一名上等

兵一名乃至三名

但二百一人以上三百人迄ハ下士二名上等兵二名乃至四名三

百一人以上ハ下士三名上等兵三名乃至五名トス

近衛海軍新兵受領員

入營兵三十人迄

下士一名

入營兵三十一人以上百人迄

下士一名上等兵海軍ハ一等卒以下之ニ做フ一

名若クハ二名

入營兵百一人以上二百人迄

尉官一名下士一名上等兵一名

乃至三名

但二百一人以上三百人迄ハ下士二名上等兵二名乃至四名三

百一人以上ハ下士三名上等兵三名乃至五名トス

近衛海軍入營兵引率員ハ新兵人員ノ多少ニ拘ハラヌ大隊區書記一名トス

第三十五條 條例第四十八條第二項ノ近衛海軍入營兵集合地ハ左ノ如シ

第一師管ハ東京、横須賀

第二師管ハ仙臺、白河、直江津

第三師管ハ四日市、沼津、名古屋

第四師管ハ京都、神戸

第五師管ハ廣嶋、吳、丸龜

第六師管ハ小倉、佐世保

第三十六條 近衛師團司令部海軍現役兵入營ノ期ニ先タテ近衛師團司令部及鎮守府ニ於テ入營兵ノ集合地ヨリ入營地ニ到ル日數ヲ量リ集合地到着ノ日割ヲ定メ豫メ之ヲ各師團司令部ニ通牒ス可シ

第三十七條 條例第四十九條ノ入營延期願濟ノ者其他事故不參ノ者アルトキハ入營兵引率員大隊區司令部所在ノ入營地ニ在テハ大隊區司令官ヨリ各隊長又ハ

近衛、海軍入營兵受領員ニ其由ヲ通知ス可シ

第三十八條 條例第五十一條ニ依リ第一補充兵若クハ海軍補充兵
ヲ以テ現役兵ノ缺員ヲ補フニハ大隊區司令官ニ於テ其取扱ヲ爲
ス可シ但他ノ大隊區又ハ警備隊區ニ轉籍シタル者ニシテ入營ヒ
サル者ノ補缺ハ轉籍地大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ノ通知
ヲ得テ其取扱ヲ爲ス可シ

現役兵入營後翌年一月三十一日迄ノ補缺ハ師團司令部及鎮守府
ヨリ當該大隊區司令部ニ通報スルモノトス

第二十九條 現役兵入營前癩疾又ハ不具ト爲リ永久兵役ニ堪ヘ難

キ者ト認メタル者アルトキハ其診斷證書ヲ添ヘ大隊區司令官又
ハ警備隊區司令官ヨリ旅團長ニ具申ス可シ但召集地若クハ交付
ノ際ニ於テ若シ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ト認メタル者アルトキハ
一時其入營ヲ差止メ置キ本條ノ手續ヲ爲ス可シ

入營兵引率員召集地若クハ交付ノ際ニ於テ永久兵役ニ堪ヘ難キ
者ト認メタル者アルトキハ其診斷證書ヲ添ヘ大隊區司令官ニ具
申ス可シ

現役兵入營ノ期ニ迫リ條例第五十三條ニ依リ徵集延期ヲ願出ル者アルトキハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官一時其入營ヲ差止メ置キ旅團長ニ具申スヘシ

第四十條 條例第五十四條及本則第二十八條第三項ニ當ル現役兵入營前ノ異動ハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官條例第五十四條ノ異動ハ轉籍地ノ大隊區司令官又ハヨリ各隊長又ハ近衛師團長若クハ鎮守府司令長官ニ通牒ス可シ

第四十一條 現役兵入營前徵集延期若クハ入營延期翌年回ト爲リ

タル者ノ名簿ハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ヨリ島司郡市長ニ送付ス可シ其徵集免除又ハ兵役免除ト爲リタル者ノ名簿ハ府縣廳ニ送付ス可シ

前項ノ名簿中入營延期翌年回ト爲リタル者ノ名簿ハ島司郡市長之ヲ徵集延期名簿ニ編入ス可シ

第四十二條 條例第五十四條ニ當ル補充兵ノ異動中其大隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルモノハ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ヨリ其名簿ヲ轉籍地ノ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ送付ス

可シ

第四十三條 現役兵入營前及補充兵ニシテ轉籍シタル者ノ現役兵證書補充兵證書ハ總テ轉籍地ノ大隊區司令官又ハ警備隊區司令官ニ於テ訂正ス可シ

第四十四條 現役兵證書補充兵證書兵役免除證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ新ニ渡方ヲ島司又ハ郡市長ニ請求スヘシ

第四十五條 條例第六十一條ニ依リ寄留地徵募區ニ於テ身體檢査ヲ受クルコトヲ許可シタル旨島司郡市長ヨリ寄留地ノ島司郡市

長ニ通知スルニハ之ニ壯丁名簿ヲ添フヘシ

寄留地ニ於テ身體檢査終ルトキハ直ニ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ヨリ檢査名簿ヲ添ヘ其旨ヲ本籍地ノ大隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ通知ス可シ

第四十六條 條例第五十七條ノ願書ハ附錄第八樣式ニ依リ身元證書ハ附錄第九樣式ニ依リ合格證書ハ附錄第十樣式ニ依リ之ヲ作ル可シ

第四十七條 壯丁名簿及假決名簿中一年志願兵又ハ六週間現役兵

ト爲リテ入營シタル者ノ名簿ハ大隊區徵兵官ヨリ旅管徵兵官ニ

差出ス可シ

第一様式

(壯丁名簿)

用紙ハ美濃紙半葉

明治何年何壯丁名簿									
住所(縣)國郡(市)町(村)大字		兵種番號		假決		終決		體格	
甲(乙)種何兵第何番		明治何年令第二十條ニ當リ徵集延期〇、〇、〇、〇		現役兵(第二補充兵)(補充兵)		現役兵(第二補充兵)(補充兵)		現役兵(第二補充兵)(補充兵)	
職分		氏名		誕生		身長		視力	
華(士)族(平民)何職(無職業)		某(長)次(男)兄(弟)本人戸主ナレハ何 某		年 月 日		身 長		視 力	
備考		備考		備考		備考		備考	
戸主(家族)直接國稅何圓ヲ納ム		戸主(家族)家屋ヲ有ス		年月日何罪ニ依リ何刑ニ處セラレ〇年		年月日何罪ニ依リ罰金ニ處セラレ		各節構造	
摘 要		摘 要		摘 要		摘 要		摘 要	

曲尺七寸

- 一 職業ハ現ニ從事スル所ノ職業ヲ記シ兼業ノ者ハ之ヲ併記ス假令ハ「商兼木工」「商兼鍛工」等ノ如シ但官吏教員醫師僧侶ノ類ハ總テ其名稱ヲ身分職業ノ區畫ニ記スヘシ
- 二 兵種番號、假決、終決、體格ノ區畫ニハ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署又ハ旅管徵兵署ニ於テ其事項ヲ記入スルモノトス
- 三 諸學生ハ其種類ニ依リ備考區畫中ニ醫學學生、獸醫學學生、電信技術生、漢學生、何學校修業或ハ卒業等ヲ併記ス可シ

第二様式

(徵集延期「猶豫」證書)

用紙ハ厚紙

凡曲尺三寸 表

右徵集ヲ延期(猶豫)ス	
年 月 日	何大隊區徵兵署 印

凡曲尺五寸

附録第二様式

九九

府(縣)郡(市)町(村) 某(長)次(男)兄(弟) 本人戸主ナレハ 戸主ト記スヘシ 氏 名

裏

本證書ハ翌年徴兵假決ノ前日迄其効ヲ有スルモノトス但翌年終決ノ處分ヲ受クヘキモノハ其前日迄トス

- 一 本證書ハ大隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵官ニ於テ假決ノ處分ヲ爲シタル者ニ限リ附與スルモノトス
 - 二 本證書ハ島廳郡市役所ニ於テ調製スヘシ
- 第三様式 (籤札) 用紙ハ厚紙

甲(乙)種何兵第何番

籤札用紙ハ府縣廳ニ於テ調製スヘシ

第四様式 (抽籤名簿)

用紙ハ府縣款名ノ美濃野紙

府(縣)郡(市)甲(乙)種第何兵抽籤名簿

何	町
第一番	何
<small>令第二十八條ニ當ル者(令第十三條第五項ニ當ル者(令第二十三條ニ當ル者(令第二十七條ニ當ル者(志願者)</small>	何
第二番	何
	村
	何
	某

第五様式

(現役兵)補充兵(証書)

用紙ハ厚紙

表

凡曲尺六寸

第何旅管何大隊區

府(縣)郡(市)町(村)

某(長)次(男)兄(弟) 本人戸主ナレハ
戸主ト記スヘシ

甲(乙)種何兵第何番 氏 名

右現役兵ニ徵募シ何兵第何聯(大)隊ニ編入ス (第 補充兵ニ編入ス)

(補充兵ニ編入ス)

年月日 第何旅管徵兵署 印

裏

一 現役兵ノ入營期日ハ十二月一日トス

一 警備隊諸兵ノ入營期日ハ第一期ハ十二月一日第二期ハ六月一日トス

一 輜重隊卒ノ入營期日ハ第一期ハ十二月一日第二期ハ四月一日第三期ハ八月一日トス

一 第一補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺トシテ召集セラレ又戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレ
ルモノトス但第一補充兵ニシテ現役兵ノ補缺トシテ召集セラレハ其服役ノ初年ニ限ル

一 第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキ召集セラレトス

一 疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ入營シ難キ者ハ市町村長ノ與書證印ヲ受ケタル書面(疾病傷痍ノ者ハ醫
ヘテ以テ入營當日迄ニ監視區長ヲ經テ大隊區司令官(警備隊區司令官)ニ届出ヘシ其届出ヲ爲サ
ルトキハ科料ニ處セラレトス)

一 入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營延期ヲ願ハントスルモノハ市町村長ノ與書證印
ヲ受ケタル書面(師ノ診斷書證書ヲ添ヘテ)以テ大隊區司令官(警備隊區司令官)ニ願出ヘシ

一 故ナク入營ノ期ニ後レ十日戰時ハテ過ケルトキハ禁錮ノ刑ニ處セラレトス

一 轉籍シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出其監視區外ニ係ルトキハ新舊住
地ノ監視區長ニ届出ヘシ其届出ヲ爲サルトキハ科料ニ處セラレトス

一 寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキ召集ノ命ヲ通報ス可キ者ヲ定メ市町村長ヲ經
テ監視區長ニ届出ヘシ復歸シタルトキ亦其由ヲ届出ツヘキモノトス

一 此届出ヲ爲サルトキハ科料ニ處セラレ又通報人正當ノ事由ナクシテ徵集ノ命ヲ通報セス若ク
ハ遲緩シタルトキハ科料又ハ拘留ニ處セラレトス

一 此證書ハ現役兵ハ入營迄補充兵ハ服役中其効チ有スルモノトス

一 此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ更ニ下渡チ島司郡市長ニ請求スヘシ

表面「右現役兵ニ徵募シ」ノ下「近衛兵又ハ海軍兵ニ在テハ」近衛歩(騎)砲(工)輜

附録第五様式

一〇三

二 重兵隊ニ編入ス又ハ「横須賀(吳)(佐世保)鎮守府海兵團ニ編入ス」ト記スヘシ
 本証書用紙ハ府縣廳ニ於テ調製スヘシ
 第六様式 (兵役免除證書)
 用紙ハ厚紙

表

第何旅管何大隊區
 府(縣)郡(市)町(村)
 某(長)次(男)兄(弟) 本人戸主ナレハ
 氏 戸主ト記スヘシ
 名

右兵役ヲ免ス

年月日

第何旅管徵兵署 印

凡曲尺六寸

裏
 此證書ヲ失ヒ若クハ損傷シタルトキハ更ニ下渡ヲ島司又ハ郡市長ニ
 請求スヘシ

本証書用紙ハ府縣廳ニ於テ調製スヘシ

第七様式ノ一 (徵兵表)

用紙ハ美濃紙

明治 年 第何旅管徵兵表

其一

計

種別	陸											計
	現											
	歩	騎	砲	工	輜	輜	重	重	輪	重	卒	
大隊區												
二十歳												
二十歳以上												
計												

附錄第七樣式

軍														役										
兵 充 補 二 第						兵 充 補 一 第						團		師										
計	靴	縫	輜	輜	工	砲	騎	步	計	靴	縫	輜	輜	工	砲	騎	步	計	靴	縫	輜	輜		
																							工	工

海														軍				考備	
現						役						充		總計	計				
何	鎮	府	計	水	火	何	鎮	府	計	水	火	兵	夫			兵	夫		
														兵	夫				

一 警備隊區アル旅管ニ在テハ大隊區ノ下ニ其區畫ヲ設クヘシ
 二 北海道在籍ノ者ハ所管大隊區ノ下ニ北海道ノ區畫ヲ設ケ其人員ヲ記スヘシ
 三 本表ノ區畫ハ其二表亦同シ實際ニ就キ適宜増減スヘシ其二表亦同シ
 第七樣式ノ二 (徴兵表)
 用紙ハ美濃紙

明治 何年 第何旅管 徴兵表

其二

附錄第七樣式

附錄第七樣式

徵										種 別	大隊區
第一集			現				役				
當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	志 願 者	當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	當 令第二十七條 當ル者	當 令第二十八條 當ル者	小 計	當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	補 令第二十三條 當ル者		
										歲二十三以上	
										計	

附錄第七樣式

人									
第二補		海軍補充兵					充兵		
當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	當 令第二十七條 當ル者	當 令第二十八條 當ル者	當 令第二十三條 當ル者	當 令第十三條 項二當ル者 令第二十三條 當ル者	當 令第二十八條 當ル者	小 計	當 令第二十七條 當ル者	當 令第二十八條 當ル者

附録第七様式

員		徵集延期猶豫								
充當 令第二十七條ニ 當ル者		計	身長五尺未滿	疾病	裁判未決	家族自活シ能ハサル者	學校生徒	外國留學	一年志願兵志願ノ爲メ徵兵檢査未濟ノ者	六週間現役ニ服スヘキ者
兵充 令第二十八條ニ 當ル者										

附録第七様式

兵役免除人			徵集免除人			人員						
計	癩疾不具	身長四尺八寸未滿	計	令第二十二條ニ當リ 三箇年ヲ過クル者 ニ超過スル者	現役補充兵ノ要員 ニ超過スル者	計	逃亡失踪	公權停止	事	故	不	參

考 備	現 役 中 ノ 人 員						現 役 終 了 ノ 人 員	
	計	陸 軍 志 願 兵	海 軍 志 願 兵	令 第 十 三 條 第 一 項 ニ 當 ル 者	令 第 十 二 條 二 當 ル 者	令 第 十 三 條 第 二 項 ニ 當 ル 者	令 第 十 三 條 第 一 項 ニ 當 ル 者	令 第 十 三 條 第 一 項 ニ 當 ル 者
重 罪 ノ 刑 ニ 處 セ ラ レ タ ル 人 員								
總 計								

- 一 現役補充兵ノ區畫中甲種合格者ハ墨書シ乙種合格者ハ朱書スヘシ
 - 二 現役中ノ人員區畫中陸軍海軍志願兵ニハ兵籍ニ編入シタル生徒ヲ含有ス
- 第八様式 (現役志願書)

現役志願者

私儀徴兵令第十二條ニ依リ現役ニ服シ度候間服役ノ義御許可相成度別紙
身元證書 檢査合格證書ヲ添ユル者ハ「身元證書」ト書スヘシ 相添ヘ戸主(後見人)連署
ヲ以テ此段奉願候也

年 月 日

府(縣)郡(市)町(村)番地寄留ノ者ハ寄留地ヲ併記スヘシ
本人 氏 名 印

同

戸主(後見人) 氏 名 印

歩(騎)(野戰砲)(要塞砲)(工)(輜重)兵(第何聯)(大)隊(何鎮守府)近衛隊ニ出願スル者ハ兵種ノ上ニ近衛ノ二字ヲ加フヘシ

御 中

第九様式 (身元證書)

身元證書

府(縣)郡(市)町(村)番地(華(士)族(平民))
 某長(次)男(兄)弟(本人)戶主ナレハ
 氏 戶主ト記スヘシ 名

一 戶籍内ノ者
 一 妻 某 何某長(次)女
 年月日婚姻
 一 父 某 一長(次)男某 年月日生
 一 祖父某 一母 某
 一 兄 某 年月日生 一祖母某
 一何々 一妹 某 年月日生

一 戶主(家族)直接國稅何圓何錢ヲ納ム
 一 戶主(家族)家屋ヲ有ス(家屋ヲ有セス)
 一 尋常(高等)小學校卒業(何年級迄修業)
 一 何學校(塾)ニ於テ何學卒業(何學修業)
 一 現今何ノ職業ニ従事ス

一年月日何ノ賞トシテ何々ヲ受ク
 一 刑罰ヲ受ケタルコトナシ(年月何々ノ科ニ依リ何罰ニ處セラル
 一種痘何回(天然痘)
 右ノ通相違無之候也

本人 氏 名 印
 戶主(後見人) 氏 名 印
 年月日 氏 名 印
 前書ノ通相違無之候也
 年月日

第十樣式

(合格證書)

用紙ハ大隊區(警備隊區)司令部款名美濃野紙

府(縣)何族(平民)

徵兵令第十二條現役志願者 氏 名

一身長何尺何寸何分

一體格合格

一何兵ニ適當

右檢査合格ニ付此證書ヲ附與ス

年月日

何大隊區司令官 氏

名 ①

陸軍何等軍醫

氏

名 ②

徵兵事務條例施行細則終

朕國民軍條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十八年一月二十五日

陸軍大臣 伯爵西鄉從道

勅令第十三號

國民軍條例

第一條 國民軍ハ陸軍ニ屬シ主トシテ衛戍若クハ邊境ノ警備ニ充ツ

第二條 國民軍ハ國民兵ヲ以テ之ヲ編制ス

第三條 國民軍ノ召集及解散ハ勅令ニ依リ師團長之ヲ行フ戒嚴ヲ宣告シ得ルノ權ア

ル司令官時機切迫シテ通信斷絶シ命ヲ請フノ途ナキトキハ直ニ召集ヲ行フヲ得

國民軍條例自第一條至第三條

第四條 國民軍幹部ハ必要ニ應シ現役豫備後備ノ陸軍將校、同相當官、准士官、下士ヲ以テ充ツルノ外左ニ掲クル者ヨリ撰拔シテ之ニ充ツ

一 退役ノ陸軍將校、同相當官、准士官ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

二 元陸軍下士、上等兵ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

三 國民兵中材幹技能アル者

第五條 陸軍後備兵ニシテ後備軍召集ニ加ハラサル者ハ特ニ國民軍ニ編入スルコトヲ得

第六條 第四條第二第三ニ當ル者ノ任官ハ陸軍武官等表ニ依リ士官以上ハ師團長ノ具狀ニ由リ陸軍大臣之ヲ奏薦宣行シ其ノ他ハ師團長ノ認可ヲ得テ聯隊長、同等

以上ノ權アル長官之ヲ行フ

第三條第二項ニ依リ召集ヲ行ヒタル司令官ハ召集員ニ士官以上ノ勤務ヲ命スルコトヲ得其ノ勤務ヲ命セラレタル者ノ身分取扱ハ其ノ官職ヲ有スル者ニ準ス

前項ノ司令官師團長ニアラサルトキハ准士官以下ノ任官ニ付師團長ト同一ノ權ヲ有ス

第七條 國民軍幹部ノ進級ハ拔擢トス其ノ任官ハ前條ノ例ニ依ル

第八條 國民軍編製ノ爲メ召集セラレタル者及志願ニ由リ國民軍ニ編入セラレタル者ハ其ノ間現役ニ準ス

第九條 第四條第二第三ニ該リ任官シタル者解散ノトキハ准士官以上ハ之ヲ退役トシ下士ハ其ノ官ヲ免ス

陸軍省令第二號

國民兵召集規則左之通定ム

明治二十八年二月一日

陸軍大臣 伯爵西郷從道

國民兵召集規則

第一章 總則

第一條 國民兵召集ヲ別テ左ノ四種トス

第一種 陸軍ニ於テ軍事教育ヲ受ケタル者

第二種 滿二十一歳以上二十六歳未滿ニシテ陸軍豫備徵員タリシ者

第三種 滿二十六歳以上三十歳未滿ニシテ陸軍豫備徵員タリシ者

第四種 前三種ニ属セサル者

第二條 各種ノ國民兵召集ハ各種同時若クハ各別ニ之ヲ行ヒ又ハ一部ノ地方ヲ限リ之ヲ行フコトヲ得

第三條 各種ノ國民兵ハ年齢若キ者ヨリ之ヲ召集スルヲ例トス

年齢十七歳以上二十歳迄ノ國民兵ハ特別ノ命令アルニ非ラサレハ之ヲ召集セス

第四條 本規則ニ於テ郡ト稱スルハ市 東京、京都、大坂ノ 三市ニ在テハ區 及島廳ヲ置キタル島嶼ヲ包 含ス

第五條 本規則ニ於テ師團長ト稱スルハ近衛師團長ヲ包含セス又警備隊區ニ在テハ

同司令官ハ大隊區司令官、島司ハ郡長、市長 東京、京都、大坂ノ 三市ニ在テハ區長ハ郡長及町村長、戶

長ハ町村長ノ職務ヲ行フ

第六條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル司令官國民兵ノ召集ヲ行フ場合ニ在テ師團長ニア

ラサル司令官ハ其召集ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス

第二章 召集

第七條 師團長國民兵召集令ヲ下ストキハ之ト同時ニ召集ノ種類所要ノ人員及召集地ヲ定メ旅團長ヲ經テ大隊區司令官ニ達シ又地方長官ニ通知スヘシ

師團長所要ノ人員ヲ定ムルニハ召集區域中召集種類毎ニ其總員不應召員ノ見込數ヲ省キタルモノヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各大隊區ニ配賦ス但配賦人員ニハ檢査不合格見込人員凡十分ノ一ヲ加算スルモノトス

第八條 大隊區司令官前條ノ達ヲ受クレハ各郡ニ配賦スヘキ人員召集地及應召員ノ一旦集合スヘキ地點並ニ其集合期日ヲ定メ之ヲ郡長ニ通達ス

大隊區司令官召集人員ヲ定ムルニハ大隊區中召集ノ種類毎ニ其總員ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各郡ニ配賦ス
大隊區司令官ハ各郡ノ應召員並ニ其召集地到着ノ時日ヲ豫定シ之ヲ旅團長ヲ經テ師團長ニ報告スヘシ

第九條 郡長ハ地方長官ヨリ國民兵召集令ヲ受領シ大隊區司令官ヨリ前條第一項ノ通達ヲ受ケタルトキハ召集令、召集スヘキ人員召集地集合地及集合期日ヲ町村長ニ通達シ且集合地ニハ吏員ヲ派遣スヘシ

郡長召集人員ヲ定ムルニハ郡中召集ノ種類毎ニ其總員ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各町村ニ配賦ス

第十條 町村長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ其配賦人員ニ應シ第一様式ノ召集令傳達書ヲ作ツ之ヲ國民兵中召集スル種類ニ相當スル者ノ内年齢若キ者ヨリ逐次ニ之ヲ

交付シ配賦人員ニ充タシメ然ル後集合地ニ至リ派遣ノ郡吏員ニ第二様式ノ應召員連名簿二通ヲ附シテ應召員ヲ交付スヘシ此名簿ニハ其町村ニ在籍スル國民兵中召集令傳達書ヲ交付シタル總テノ人名ヲ掲ケ不應召員ハ其事由ヲ記シ第十二條ノ書類ヲ添フヘシ

第十一條 召集傳達書ヲ受ケタル國民兵ハ町村長ノ指示ニ從ヒ該傳達書ヲ携帯シ發途スヘシ

第十二條 正當ノ事故ニ因リ召集ニ應シ難キ者ハ本人或ハ戸主若クハ其家族ヨリ二十四時間以内ニ町村長ニ届出ツヘシ但其事故傷痍疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ其他ハ憲兵或ハ警察官ノ承認書ヲ添フヘシ
前項ニ違背シタル者ハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十

日以下ノ拘留ニ處ス

第十三條 郡吏員集合地ニ至レハ町村長ヨリ受領セシ連名簿ヲ大隊區司令官或ハ大隊區司令部出張員ニ差出スヘシ

第十四條 應召員集合地ニ到着スレハ大隊區司令官或ハ大隊區司令部出張員身體検査ヲ爲サシメ合格不合格ヲ召集令傳達書並ニ連名簿ニ記入シ連名簿一通ハ之ヲ郡吏員ニ傳達書ハ之ヲ本人ニ返付シ其合格者ハ郡吏員ヲシテ召集地ニ引率セシメ不合格者ハ直チニ歸郷セシムヘシ但身體検査ハ最寄衛戍地ノ在職軍醫若クハ地方醫師ヲシテ之ヲ行ハシム

第十五條 郡吏員應召員ヲ引率シ召集地ニ到着シタルトキハ連名簿ト共ニ之ヲ國民兵受領員ニ交付スヘシ

第十六條 召集地ニ於ケル國民兵受領員ハ師團長適宜ニ之ヲ編成スヘシ

第十七條 召集令傳達書ハ應召員ヨリ編入セラレタル部隊ニ差出スモノトス

第十八條 陸軍召集條例第二章中本則ニ矛盾セサルモノハ之ヲ準用ス

第三章 旅費支給

第十九條 國民兵召集旅費ハ當該監督部長陸軍大臣ノ命令及師團長ノ請求ニ依リ居住地ヨリ集合地マテノ概算額ハ之ヲ陸軍臨時召集旅費支出規程ニ定ムル所ノ出納官吏ニ送付シ該出納官吏ハ適宜之ヲ應召員ニ交付スヘシ其集合地ヨリ召集地迄ノ旅費及檢査不合格者ノ歸郷旅費概算額ハ之ヲ大隊區司令官ニ送付シ該司令官又ハ司令部出張員ヨリ本人ニ交付スヘシ

第二十條 國民兵召集旅費ハ陸軍給與令第三十七表ノ額ニ依ル

第二十一條 志願ニ依リ國民軍ノ幹部ニ充テラレタル者ハ前條ノ例ニ依リ編成地ニ於テ旅費ヲ給ス

第四章 雜則

第二十二條 第六條ノ場合ニ在テ前諸條ノ規定ニ依リ難キハ司令官必要ニ應シ適宜處置スルコトヲ得

第二十三條 後備軍召集ニ應セサル在郷軍人ニシテ國民兵ト共ニ召集セラル、時ハ其召集手續ハ本規則ニ依リ施行スルコトヲ得

第一様式 用紙半紙譯紙

國民兵召集傳達書

何府(縣)何郡(區)市町村番地

第何種國民兵

族籍戶主(某長男、子弟等)

姓名

何年何月生

右國民兵トシテ何召集地ニ召集ヲ命セラレ候來ル何月何日午前何時何大隊區何地
集合地ニ參集スヘシ

何年何月何日

何市町村長 姓名印

記

一金何圓何拾何錢也

右居住地ヨリ集合地迄ノ旅費トシテ相渡候也

何年何月何日

何郡長(何收稅署長)(何郡書記)姓名印

第二樣式 用紙美濃野紙

何府(縣)何郡(區)市町村

第何種國民兵連名簿

住所族籍	召集ニ應セサル事由		合格		不合格	
	疾病	元豫備徵員	元陸軍歩兵軍曹	農	開業醫	其他
何村字何々番地士族 戶主(某長男、子弟等)	疾病	元豫備徵員	元陸軍歩兵軍曹	農	開業醫	其他
何村字何々番地平民 某二男甥		合格	合格	不合格	不合格	不合格
禁錮						
計何名						

內應召員
不應召員

何名

前書之通相違無之候也

何年何月何日

何市町村長 姓

名 印

陸軍省訓令甲第一號

師團司令部 近衛師團司令部ヲ除ク

北海道廳 府縣 沖繩縣ヲ除ク

國民兵召集事務準則左ノ通定ム

明治二十八年三月七日

陸軍大臣 伯爵西郷從道

國民兵召集事務準則

第一項 大隊區司令部、警備隊區司令部、島廳、郡市役所 東京、京都、大坂ノ三市ニ在テハ區役所以下做之
村役場ニ國民兵召集名簿ヲ備置カシムヘシ

第二項 國民軍召集名簿ハ召集規則第一條ニ掲クル種類ニ分チ年齡ノ若キ者ヨリ順序ニ編製スルモノトス但第一種召集名簿ハ將校、同相當官、准士官及元下士兵卒職工並ニ各兵科各部ニ區分ス

第三項 師團司令部ニ於テハ召集規則第一條ニ掲クル種類及各大隊區ニ分チタル國民兵召集人員表ヲ備置キ大隊區司令部、警備隊區司令部ニハ郡市及島廳ヲ置キタル島嶼ニ分チタル國民兵召集人員表ヲ島廳、郡役所ニハ町村ニ分チタル國民兵召集人員表ヲ備置カシム

國民兵召集事務準則自第一項至第三項

第四項 前二項ノ名簿及人員表ハ毎年四月一日ノ現在員ヲ豫定シ三月一日迄ニ整頓スルモノトス

第五項 國民兵召集名簿及人員表整頓シタルトキハ人員表一通ヲ添ヘ師團司令部ヨリ陸軍省ニ報告スヘシ

第六項 召集規則第一條第二種第三種ノ年齡計算ハ召集年ノ十二月ヲ以テス

第七項 六週間現役滿期ノ者ハ召集規則第一條第四種ニ屬スルモノトシ調査スヘシ

第八項 退役准士官以上及元下士以下ノ者ニシテ豫メ國民軍編入ノ許可ヲ受ケタルモノハ召集規則第一條第一種ニ屬スルモノトシ調査スヘシ但其人員ハ召集規則第七條第八條第九條配賦人員及其率トナスヘキ總員ニ加フルモノトス

第九項 國民軍編入志願者ニシテ退役准士官以上ノモノハ師團長ニ於テ之ヲ許可シ

元下士以下ノモノニ在テハ大隊區司令官、警備隊區司令官ヲシテ許可セシムヘシ

第十項 召集規則第一條第三種第四種ニ屬スル者ノ名簿二十歲以下ノ者ハ人員表共ハ豫メ備置クニ及ハス

第十一項 第一種第二種國民兵召集名簿及人員表整頓期限ハ明治廿八年ニ限リ師團司令部ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ

第十二項 前諸項ニ掲クル外國國民兵召集ニ關スル細則ハ師團司令部及地方廳ニ於テ規定スヘシ

海軍省令第七號

海軍豫備役後備役下士卒臨時召集令左ノ通定ム

明治二十七年七月二日

海軍大臣 伯爵西郷從道

海軍豫備役後備役下士卒臨時召集令

第一章 總則

第一條 海軍豫備役後備役下士卒臨時召集ハ戰時若クハ事變ニ際シ鎮守府司令長官ヲシテ行ハシムルモノトス

第二條 臨時召集ハ時トシテ同時ニ全豫備役若クハ全後備役下士卒ヲ召集スルコトナク時ノ形勢ニ應シ所要ノ人員ノミヲ召集スルコトアルヘシ但此ノ場合ニ於テハ特ニ明治何年何月何日以後ニ現役ヲ離レタル者ヲ召集スヘキノ令アルモノトス

第三條 臨時召集地ハ常ニ各豫備役後備役下士卒ノ兵籍ヲ管スル鎮守府海兵團トス

第四條 臨時召集ニハ召集令狀ヲ發スルモノトス

第五條 臨時召集ノ發令アリタルトキハ各當事者ハ晝夜ヲ分タス其ノ事務ヲ處理スヘキモノトス

第二章 召集ニ關スル平常ノ準備

第六條 召集令狀様式第一ハ其ノ封筒様式第二及領收證様式第三ト共ニ海兵團ニ於テ之ヲ調製シ

豫メ之ヲ島廳郡區市役所ニ送附シ島廳郡區市役所ニ於テハ之ヲ海軍豫備役(後備役)下士(卒)名簿ニ照シ合セ其ノ異同ヲ確メ召集ノ發令アル迄之ヲ保管シ且豫備役後備役下士卒身上ニ異動アル毎ニ適當ノ訂正ヲ施スヘシ

第七條 海兵團ニ於テハ前條ノ召集令狀ノ外ニ尙ホ旅費交附時日證票様式第四ヲ作り召

集令狀ト共ニ島廳郡區市役所ニ送附シ置クヘシ
旅費交附時日證票ハ實際ノ旅費ヲ交附シタル時日ヲ證明スルノ用ニ供スルモノニ
シテ島司郡長及市ノ收稅署長ハ各自ニ旅費ヲ交附スルト同時ニ該票ニ其ノ月日時
ヲ記入スヘキモノトス

第八條 豫備役後備役下士卒他ノ島郡區市ニ轉籍シタルトキ及海軍省令第六號ノ許
可ヲ得タルトキハ其ノ者ノ召集令狀及旅費交附時日證票等ハ其ノ都度速ニ之ヲ轉
籍若クハ應召地ノ島廳郡區市役所ニ轉送スヘシ

第九條 北海道廳及各府縣ニ於テハ召集ニ應スル豫備役後備役下士卒休泊ノ爲メニ
豫メ鎮守府ニ到ル沿道便宜ノ地ニ於テ海軍軍用旅舎ヲ選定シ之ヲ憲兵隊及警察署
ニ通知シ置クヘシ但本條ノ旅舎ヲ選定スルハ約束ヲ以テ定ムルモノトス

第十條 豫備役若クハ後備役下士卒海兵團ニ參著スルトキ之ニ被服、食器ヲ給與シ
私服ヲ格納シ補充隊ヲ編制シ又ハ直ニ兵員ヲ要スル艦船隊廳等ニ勤務ヲ命スル等
ノ方法ハ豫メ鎮守府ニ於テ之ヲ定メ事ニ當テ混雜ノ憂ナキヲ期スヘシ

第十一條 臨時召集ニ關セル達文、通知書等第十三條第十
四條等參看ハ各當事者ニ於テ豫メ簡

明ナル文案(電報案共)ヲ定メ且成ルヘク之ヲ關係ノ官廳役場等ニ通知シ置クヘシ

第十二條 島廳郡區市役所ニ於テハ管地内在籍ノ豫備役若クハ後備役下士卒ノ人員、
地形等ニ應シ召集令狀ヲ配達スルニ最モ便宜且迅速ナル方法ヲ豫定シ置クヘシ

第二章 召集手續

第十三條 豫備役若クハ後備役下士卒臨時召集ノ合アリタルトキハ鎮守府司令長官
ハ之ヲ其ノ部下ニ達シ且同時ニ北海道廳長官、府縣知事、憲兵司令官東京外ニ於テ
ハ憲兵隊長以

下皆
同シ警視總監、大審院長、控訴院長、地方裁判所長、檢事總長、檢事長及檢事正ニ通
知スヘシ

第十四條 北海道廳長官、府縣知事ハ前條ノ通知ニ從ヒ之ヲ島司郡區市長及警察署
長ニ達シ警視總監ハ同條ノ通知ニ從ヒ之ヲ警察署長ニ達スヘシ

第十五條 憲兵司令官ハ第十三條ノ通知警察署長ハ第十四條ノ達ニ從ヒ各部下ノ憲
兵、警部、巡查ヲシテ左ノ件々ヲ執行セシムヘシ但憲兵隊ヲ置ケル府縣ニ於テハ憲
兵主トシテ之ヲ擔當シ警部、巡查ハ之ヲ補助シ憲兵隊ヲ置カサル府縣ニ於テハ警
部、巡查專ラ之ヲ擔任スヘシ

一 召集ニ應スヘキ各豫備役若クハ後備役下士卒ノ家ニ到リ遲滯ナク發足セシヤ
否ヤヲ調査シ若シ故ナク猶豫スル者アルトキハ速ニ發足ヲ督促スルコト

二 船舶所有主ノ家若クハ會社等ニ到リ港内碇泊ノ船舶乗組員中ニ豫備役若クハ
後備役下士卒ノ有無ヲ質シ若シ其ノ之レ有ルヲ知ラハ其ノ船舶ニ到リ之カ發
足ヲ督促スルコト

三 豫定ノ海軍軍用旅舎ニ到リ「海軍軍用旅舎」ト記シテ表出セシムルコト

四 鎮守府ニ到ル沿道ニ於ケル渡船場、停車場及波止場等ニ出張シテ旅行ノ便宜
ヲ與フルコト

五 旅費支給ノ場所ニ出所シ吏員ヲ補助シテ混雜ヲ制スルコト

六 憲兵屯所、同分屯所、警察署、同分署、巡查派出所其ノ外公衆ノ注目シ易キ場所
ニ警報様式
第五ヲ揭示スルコト

第十六條 島司郡長ハ第十四條ノ達ニ從ヒ之ヲ町村長ニ達シ且召集令狀中ニ年月日

旅費支給ヲ始ムル時日及場所ヲ記入シ之ヲ各自ニ配達シ其ノ領收證ヲ徴スヘシ
區長及市長ハ同條ノ達ニ從ヒ召集令狀中ニ年月日ヲ記入シ且其市ノ收稅署長（府
縣知事ニ於テ定メタル者）（）協議シ旅費支給ヲ始ムル時日及場所ヲモ記入シ區長
及市長
長ハ此ノ時又其ノ保管セル旅費交附之ヲ各自ニ配達シ其ノ領收證ヲ徴スヘシ
時日證票ヲ收稅署長ニ交附スヘシ
本條ノ召集令狀ヲ配達スルニ當テ本人其ノ家ニ在ラサルトキハ其ノ家族親族若ク
ハ召集通報人ニ之ヲ交附シテ其ノ領收證ヲ徴スヘシ
島廳郡區市役所町村役場ニ於テモ召集發令ニ從ヒ其ノ揭示場ニ之カ警報樣式
第五ヲ揭
クヘシ
第十七條 召集令狀ノ領收證ハ島司郡區市長之ヲ取纏メ務メテ速ニ海兵團長ニ送附
スヘシ

第十八條 豫備役若クハ後備役下士卒既ニ召集令狀ヲ領收セシトキハ二十四時間以
内ニ發足シ旅費支給ヲ始ムル令狀ノ裏面ニ於テ指示サレタル旅費支給場所ニ到リ
テ旅費及旅費交附時日證票ヲ受領シ一日行程少クトモ十二里沿道ニ汽車汽船ノ
便アル者ハ里數ニ
拘ラス之ニテ以テ旅行シ本籍海兵團ニ參著シ召集令狀履歷表及旅費交附時日證票
ヲ差出シテ命ヲ待ツヘシ
召集地ニ到ルノ途中汽車汽船ニ事故アリ若クハ疾病川支等ノ爲メニ旅行ノ延滞ヲ
生シタルトキハ其ノ事由ト延滞セル時日ヲ記シ疾病ナレハ醫
師ノ診斷書汽車ノ事故ナレハ驛
長若クハ會社、汽船ノ事故ナレハ船長、事務長若クハ會社、川支等ナレハ其ノ地ノ
憲兵、警察官、島司郡區市長若クハ町村長ノ證印ヲ受ケ參著ノトキ之ヲ海兵團長ニ
差出スヘシ

第十九條 豫備役若クハ後備役下士卒海兵團ニ參著シタルトキハ海兵團長ハ其ノ召集令狀ヲ引揚ケ履歴表ヲ點檢シ身體ヲ檢査シ終テ之ニ被服、食器ヲ給シ私服ヲ格納シ或ハ之ヲ補充隊ニ編制シ或ハ所要ノ艦船隊廳ニ勤務ヲ命スル等鎮守府司令長官ニ於テ豫メ定メタル方法ニ依リ處分スヘシ但身體檢査ニ於テ到底兵役ニ堪ヘスト認ムル者アルトキハ其ノ兵役ヲ免シ旅費ヲ給シテ歸郷セシムヘシ

第二十條 召集令狀配達ヲ受クルトキ豫備役若クハ後備役下士卒犯罪失踪旅行寄留等ニテ家ニ在ラス二十四時間以内ニ發足シテ召集ニ應セシムル能ハサル者ハ家族親族若クハ召集通報人其ノ事由ヲ詳記シ憲兵憲兵隊ヲ置カサル府縣ニ於テハ警察官ノ證認及市町村長ノ與書證印ヲ受ケ島司郡區市長ヲ經テ海兵團長ニ届出ツヘシ其ノ召集令狀受領後逃亡セル者アルトキモ亦同シ

本條ニ當ル下士卒ノ召集令狀ハ前項ノ届書ヲ差出ストキ之ヲ島司郡區市長ニ返附スヘシ

第二十一條 豫備役若クハ後備役下士卒召集令狀ヲ受領セルトキ傷痍疾病若クハ病後ニテ二十四時間以内ニ發足シテ召集ニ應スル能ハサルトキハ其ノ届書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ島司郡區市長ヲ經テ之ヲ海兵團長ニ届出テ且其ノ召集令狀ヲ島司郡區市長ニ返附スヘシ

第二十二條 第二十條及第二十一條ノ豫備役若クハ後備役下士卒傷痍疾病快復若クハ犯罪旅行等ノ事故止ミタルトキハ速ニ島廳郡區市役所ニ到リ召集令狀ヲ受取り且其ノ指示ニ從ヒ旅費及旅費交附時日證票ヲ受取り直ニ本籍海兵團ニ參著シ召集令狀履歴表及旅費交附時日證票ヲ差出シテ命ヲ待ツヘシ

第二十三條 召集ノ期ニ遅ル、者アルトキハ海兵團長ハ第十七條ノ召集令狀ノ領收
證第二十條第二十一條ノ届書第十八條第二項ノ旅行延滞事由書及旅費交附時日證
票等ヲ参考トシテ其ノ事由ヲ糺問シ懲罰ニ該ル者ハ直ニ之ヲ處分シ刑法ニ該ル者
ハ海軍治罪法ニ從ヒ其ノ處分ヲ爲スヘシ

第二十四條 召集ノ事一應其ノ局ヲ結ヒシトキハ海兵團長ハ不參ノ人名表ヲ作り各
自姓名ノ上ニ不參事由ヲ記シ鎮守府司令長官ニ差出シ鎮守府司令長官ハ之ヲ海軍
大臣ニ進達スヘシ

附則

第二十五條 臨時召集ニ關スル旅費支給ノ準備、手續等ハ別ニ之ヲ定ム

第二十六條 本令ニ於テ町村長トアル場合ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ戸長ト

ス

様式第一

曲尺四寸

召集令狀

(何)備役

海軍(何官職) (姓) 名

表

召集ヲ令ス

明治(何)年(何)月(何)日

(何) 鎮 守 府 印

裏

- 一 召集令狀ニ對スル心得
- 二 旅費ハ來 日 午前時ヨリ 午後時ヨリ 於テ支給スヘシ
- 三 此令狀ヲ受取タルトキハ必ス二十四時間以内ニ發足シハ印形履ヲ忘ルヘカラス 前記ノ場所ニ到リ旅費及旅費交附時日證票ヲ受取リ旅費ヲ受取ルトキ 一日行程少クトモ十二里詰 沿道ニ汽車汽キハ里數ニ拘ララテ以テ旅行シ鎮守府海兵團ニ參著シ此令狀、履歴表及旅費交附時日證票ヲ差出シテ命ヲ待ツヘシ
- 四 發足ノ節ハ前記ノ印形履歴表ノ外ニ私服ヲ包ム爲メニ風呂敷ノ類ト之ニ附スル姓名札 成ル可ク木又ハ革等ニテヲモ持參スヘシ
- 五 召集地ニ到ルノ途中汽車汽船ニ事故アリ若クハ疾病川支等ノ爲メニ旅行ノ延滞ヲ生シタルトキハ其事由ト延滞セル時日ヲ記シ疾病ナレハ醫 汽車ノ事故ナレハ驛長若クハ會社、汽船ノ事故ナレハ船長事務長若クハ會社、川支等ナレハ其地ノ憲兵警察官島司郡區市長若クハ町村長ノ證印ヲ受ケ參著ノ時之ヲ海兵團長ニ差出スヘシ

屈出テ且此令狀ヲ一先ツ島司郡區市長ニ返附シ置キ快愈ニ至ラハ速ニ之ヲ前記ノ手續ニ依テ届出テ且直ニ島廳郡區市役所ニ到リ再ヒ令狀旅費及旅費交附時日證票ヲ受取リ(一)ニ記セル如ク海兵團ニ到ルヘシ

様式第二

曲尺六寸二分

表

此召集令狀ノ配達ヲ受ケタルトキ名宛ノ本人犯罪失踪旅行寄留等ニテ家ニ在ラス二十四時間以内ニ發足シテ召集ニ應セシムル能ハサル者ハ家族親族若クハ召集通報人其事由ヲ詳記シ憲兵 憲兵隊ヲ置カサル警察ノ證認及市町村長ノ與書證印ヲ受ケ島司郡區市長ヲ經テ海兵團長ニ届出ツヘシ 召集令狀ハ之レト同時ニ島 其召集令狀受領後逃亡セラル者アルトキモ亦同シ

何府(縣)何郡(區)何(町)村何番地
(何)備役
海軍(何官職) (姓) (名) 殿

召集令狀在中

此處へ赤キ紙片ヲ貼附ス

封筒糊封スヘカラス

裏

(何) 鎮守府

様式第三

截切線

曲尺四寸

領收證

一召集令狀

一通

右正ニ領收候也

明治(何)年(何)月(何)日午前
後

41125

(何)備役

海軍(何官職)(姓名)印

召集令狀到着ノ時若シ本人不在ナルトキハ家族親
族若クハ召集通報人ニ於テ之ヲ受取り空白ノ處へ
署名捺印スヘシ

本領收證ハ封筒ノ下ニ貼附シアルモノトス

様式第四

旅費交附時日證票

(何)備役

海軍(何官職)(姓名)

右(何)月(何)日午前(何)時
午後(何)時 規定ノ旅費ヲ交
附セリ

明治(何)年(何)月(何)日

署 名

様式第五

警報

海軍豫備役(後備役)下士卒召集相成候事特ニ明治
 月(何)日以後現役ヲ離レタル者ヲ召集ス
 ルノ令アリタルトキハ之ヲ明記スヘシ
 明治(何)年(何)月(何)日

海軍省令第八號

海軍臨時召集旅費支出規程左ノ通定ム

明治二十七年七月二日

海軍大臣 伯爵西郷從道

海軍臨時召集旅費支出規定

第一條 海軍臨時召集旅費ハ島司郡長北海道函館區及札幌市長ニ於テ毎年三月一日

現在スヘキ其管内在住ノ海軍豫備後備ノ臨時應召員ヲ豫定シ之ニ要スル召集旅費

ヲ計算シ召集旅費概算表ヲ作リ三月三十一日マテニ所轄鎮守府海兵團へ差出スヘ

シ鎮守府海兵團ハ前項概算表ノ金額ヲ調査シタル後鎮守府監督部ニ送付ス鎮守府

監督部ハ該金額人員ノ合計表ヲ調製シ海軍省ニ届出テ概算表ハ海軍司計部ニ交付

スヘシ

海軍省ハ毎年一回海軍臨時召集旅費概算表ヲ作リ大藏省ニ送附ス此ノ概算表ハ翌

年四月三十日マテ有効ノモノトス

第二條 北海道廳長官府縣知事ハ前條召集旅費ヲ應召者ニ給與スル爲メ便宜ノ地ヲ

海軍臨時召集旅費支出規程第一條第二條

撰定シ其ノ市町村名及第六條第一項ノ現金前渡ヲ受ケ仕拂ヲナスヘキ島司郡長若クハ收稅署長ノ官職姓名ヲ取調當該鎮守府監督部ニ豫メ通牒シ置キ爾後該吏員變更アルトキハ其時々通牒スヘシ

鎮守府監督部長前項ノ通牒ヲ受ケタルトキハ即時當該海軍司計部ニ通知シ又海軍省ニ報告スヘシ

第三條 海軍省ハ第一條ノ屆書ニヨリ平時ニ於テ豫メ臨時召集旅費ノ豫算要求書及仕拂豫算計算書ヲ調製シ置キ戰時若クハ事變ニ際シ大藏省ヲ經テ要求書ノ裁定ヲ得即時電信其ノ他ノ方法ヲ以テ鎮守府監督部ヲ經テ海軍司計部ヘ配付豫算ヲ令達スヘシ

第四條 鎮守府監督部ハ前條ノ令達ニ接シタルトキハ臨時召集概算表ノ金額ヲ目的

トシ現金前渡ヲ受クヘキ官吏ヘ旅費金額送付方ヲ當該海軍司計部ニ請求スヘシ

第五條 海軍司計部ハ前條ノ請求ヲ調査シ直ニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發行スヘシ

第六條 現金前渡ヲ受クヘキ官吏ハ島司郡長收稅署長トス

島司郡長若クハ收稅署長前條ノ現金前渡ヲ受ケタルトキハ出納官吏現金取扱規則ニ依リ現金ヲ取扱ヒ其ノ管内召集ニ應スヘキ豫備後備在任軍人ニ對シ各自ニ召集地ニ到ル定則ノ旅費ヲ支給スヘシ

臨時召集旅費支給ニ係ル事務ハ最モ迅速ヲ要ス故ニ出納官吏タルモノ現金前渡ヲ受ケタルトキハ晝夜ヲ分タス處辨スヘシ

第七條 島司郡長若クハ收稅署長ハ召集終レハ會計檢査院ニ提出スヘキ仕拂計算書及證憑書類ヲ當該海軍司計部ニ送付スヘシ

廿七年七月
海軍省令
第十號
參看

第八條 應召員ニシテ行程ノ便宜ニ依リ旅費ノ支給ヲ受スシテ直ニ召集地ニ參着シタルトキハ所轄鎮守府海兵團ニ於テ之ヲ支給スルコトヲ得此場合ニ於テハ海兵團ヨリ當該現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ其旨ヲ通牒スヘシ

第九條 演習召集旅費モ此ノ規程ニ準據シ取扱フヘシ

附則

第十條 本規程ハ發布ノ日ヨリ施行ス但第一條ノ召集旅費概算表ハ本年ニ限り本規程到達ノ日ノ現在員ニ依リ取調一週日內ニ所轄鎮守府海兵團ニ差出スヘシ

海軍省訓令第一號

北海道廳 府縣

本年七月海軍省令第八號海軍臨時召集旅費支出規程ニ依リ出納官吏ニ係ル左ノ件々ハ道廳長官府縣知事ニ於テ執行スヘシ

明治二十七年十一月八日

海軍大臣 伯爵西鄉從道

- 一出納官吏事故ニ依リ代理ヲ要スルトキ其代理者ノ命免
- 二會計規則第九十一條第九十二條及第百條ニ依リ要スル検査委員立會員若クハ計算書調製セシムヘキ官吏ノ任命

海軍省令第六號

海軍豫備役後備役下士卒中寄留地又ハ乗組船舶ノ船籍港等ニ於テ召集ニ應セントスル者ノ願届手續左ノ通定ム

明治二十七年七月二日

海軍大臣 伯爵西郷從道

一 豫備役及後備役下士卒他廳府縣ニ寄留スル者其ノ地ニ戶籍ヲ有スル者ト同一ノ手續ニ依リ召集ニ應セントスル者ハ寄留地市町村長（市制町村制ヲ施行セサル地ハ區戶長）ノ奥書證印ヲ受ケ豫メ本籍鎮守府海兵團長ニ願出其ノ許可ヲ受クヘシ但本項ノ許可ヲ得タルトキハ其ノ寫ニ寄留地市町村長（市制町村制ヲ施行セサル地ハ區戶長）ノ奥書證印ヲ受ケ原籍地ノ町村長（町村制ヲ施行セサル地ハ區戶長）ヲ經テ郡長ニ島嶼ハ島司ニ市制施行地ハ直ニ市長ニ北海道函館區及札幌區ハ直ニ區長

ニ届出且寄留地郡長島司ニモ届出ツヘシ

本項ノ許可ヲ得タル者其ノ寄留地若シ他鎮守府志願兵徵募區ニ屬スルトキハ兵籍モ亦其ノ鎮守府ニ移ルモノトス此ノ場合ニ於テハ本籍鎮守府海兵團長ヨリ該鎮守府海兵團長ニ通知スヘシ

一 豫備役及後備役下士卒海員トナリテ船舶乗組中ノ者ハ願ニ依リ其ノ船舶ノ船籍港若クハ平常運航ノ一港ニ戶籍ヲ有スル豫備役後備役下士卒ト同一ノ手續ニ依リ召集ニ應スルコトヲ得但其ノ願届ノ手續ハ前項ノ例ニ從フヘシ

本項ノ場合ニ於テハ召集ノ令アリシトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ（陸上ニ在ル者ニシテ船舶所有者若クハ其ノ代理人等最モ良シ）本項ノ願書中ニ其ノ者ノ住所姓名ヲ記入シ其ノ者ノ捺印ヲ受クヘシ

本項ノ許可ヲ得タル者其ノ召集ニ應スル港地若シ他鎮守府ノ志願兵徵募區ニ屬ス
ルトキハ兵籍モ亦其ノ鎮守府ニ移ルモノトス此ノ場合ニ於テハ本籍鎮守府海兵團
長ヨリ該鎮守府海兵團長ニ通知スヘシ

海軍省令第六號

海軍豫備兵歸家シタルトキハ其日ヨリ三日以内ニ戶長ニ届出戶長ハ之ヲ郡區長ニ届
出可シ

海軍豫備兵後備兵外國へ航海又ハ在留セントスルトキハ其事由ヲ詳記シテ戶長ノ與
書證印ヲ受ケ鎮守府海兵團へ願出許可ヲ得可シ

廿一年九
月省令第
十五號參
看

鎮守府海兵團ニ於テ前項ノ願ヲ許可シタルトキハ之ヲ郡區役所ニ通知ス可シ

海軍豫備兵後備兵轉籍寄留又ハ失踪犯罪其他身上ノ異動アルトキハ戶長ノ與書證印

ヲ受ケ戶主本人戶主ニシテ失踪犯罪其他ニテ自ラ届出ル能ハサルトキハ親族ヨリ速ニ鎮守府海兵團へ届出郡區長ニ

ハ其寫ヲ以テ届出可シ

各郡區役所ニ於テハ豫備役兵名簿後備役兵名簿ヲ備へ置キ身上異動アル毎ニ記入シ

置ク可シ

明治二十一年五月十五日

海軍大臣 伯爵西郷從道

朕陸軍豫備後備下士兵卒服役條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公公セシム

御名 御璽

明治二十二年十二月二十八日

陸軍大臣 伯爵大山 巖

勅令第四百四十四號 (官報十二月三十日)

陸軍豫備後備下士兵卒服役條例

- 第一條 陸軍豫備後備下士兵卒ハ本籍師管ノ兵籍ニ編入シ大隊區司令官ノ管轄ニ屬ス
- 第二條 豫備後備下士ハ戰時若シクハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度簡閱點呼ヲ爲シ又勤務演習ノ爲メ召集スルコトアル可シ

廿三年八月九日及十月廿一號參看

廿三年三月廿一號參看

第三條 豫備後備下士ニシテ文官ニ任セラレ餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル者及市町村長、助役、收入役ト爲ル者ハ勤務演習簡閱點呼ノ爲召集スルコトナシ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲ル者其開會中亦同シ

餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル者ハ豫メ當該官廳ヨリ内閣ニ具狀シ認可ヲ請ケ本人所管ノ大隊區司令官ニ通報ス可シ其事故止ミタルトキ亦同シ後備兵卒ニシテ徵兵令第二十二條ニ當ル者亦前項ノ例ニ依ル

第四條 豫備後備下士兵卒服役滿期ニ至リタルトキハ辭令ヲ用キスシテ豫備ハ後備ニ後備ハ國民兵役ニ入ルモノトス但下士ニ在テ後備滿期ニ至リタルトキハ其官消滅スルモノトス

第五條 豫備後備下士及下士適任證書ヲ所持スル者滿期後引續キ服役セント欲スル

陸軍豫備後備下士兵卒服役條例自第三條至第五條

トキハ年數ヲ定メ市町村長東京、京都、大坂ノ三市ニ在テハ區長以下之ニ倣フ及監視區長ヲ經テ大隊區司令官ニ願出可シ

第六條 豫備後備下士兵卒ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱點呼免除ヲ願ハント欲スルトキハ其願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ監視區長ヲ經テ大隊區司令官ニ差出ス可シ

第七條 豫備後備下士兵卒ニシテ監視區外ニ寄留スル者ハ願ニ依リ其地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得
一箇年以上師管步兵ニ在テハ旅管外ニ寄留スル者ハ願ニ由リ寄留地師管又ハ旅管ニ於テ勤務演習ヲ爲スコトヲ得

前二項ニ依リ願出ル者ハ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ監視區長ヲ經テ大隊區司

令官ニ差出ス可シ但許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者三日以内ニ豫備後備ノ編入年ヲ記シ其由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地監視區長ニ届出可シ

第八條 現役ヨリ豫備後備若クハ後備後備ニ入ル下士兵卒ハ十四日以内ニ衛戍地又ハ從前ノ在職地ヲ出發シ一日行程十里詰ヨリ尠ナカラサル日數間ニ歸郷シ着後十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

衛戍地又ハ從前ノ在職地若クハ其ノ他ノ地ニ十五日以上滞在若クハ寄留セント欲スルトキハ本條ノ出發期日內ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報ス可キ者ヲ定メ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ但歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲ス可シ

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ大隊區ニ係ルトキハ其地ノ市町村長ヲ經テ

同地監視區長ニモ届出可シ但本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲ストキ亦同シ

第九條 豫備後備下士兵卒傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

第十條 豫備後備下士兵卒兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ但監視區外ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ監視區長ニ届出可シ

第十一條 豫備後備下士兵卒十四日以上ノ旅行或ハ寄留セント欲セルトキハ召集ノ命アルトキ之ヲ通報ス可キ者ヲ定メ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ但歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

前項ノ寄留地本籍地外ノ大隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地監視區長ニモ届出可シ但本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲ストキ亦同シ

外國ニ旅行中又ハ寄留中ハ勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ但對馬警備隊區ニ在テ朝鮮國釜山ニ旅行又ハ寄留スル者ハ此限ニアラス

外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其他ノ手續ニ由リ充員若クハ後備軍召集ノ舉アルコトヲ確知シタルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

第十二條 豫備後備下士兵卒ニシテ市町村長助役收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ並ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

第十三條 豫備後備下士兵卒ニシテ死亡又ハ失踪シタル者アルトキ及失踪中戸籍ヲ轉換シタルトキハ其戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ失踪ノ者歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但監視區外ニ戸籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ監視區長ニ届出可シ

家族ナキ者ニノ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ監視區長ニ通知スヘシ

第十四條 豫備後備下士兵卒重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期

ヲ記シ其戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ監視區長ニ通知スヘシ

第十五條 本條例中兵卒ト稱スルハ雜卒職工ヲ包含ス

第十六條 第七條第二項但書第八條第一項及第二項第十條第十一條第一項及第四項

第十二條第十三條第十四條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上一圓九拾五錢以下ノ科

料ニ處ス

第十七條 第八條第十一條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ

其通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十八條 豫備後備下士兵卒正當ノ事由ナクシテ簡閱點呼ニ會セサル者ハ五十錢以

上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十九條 警備隊區ニ於テハ本條例中大隊區司令官ノ職務ハ警備隊區司令官之ヲ行

ヒ監視區長ノ職務ハ警備隊區副官之ヲ行フ又大隊區監視區トアルハ同警備隊區ト

ス

第二十條 屯田兵條例ニ依リ服役スル豫備役下士兵卒ノ取扱ハ別ニ定ムル所ニ依ル
第二十一條 第七師管ニ大隊區司令部設置迄ハ大隊區司令官ノ職務ハ屯田兵司令官
之ヲ行ヒ監視區長ノ職務ハ屯田兵副官之ヲ行フ

附則

第二十二條 市制町村制ヲ實施セサル地方ニ在テ本條例中市町村長ノ職務ハ戶長ニ
於テ之ヲ行フ可シ

朕陸軍歸休兵條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年十二月二十八日

陸軍大臣 伯爵大山 巖

勅令第四百四十五號 (官報十二月三十日)

陸軍歸休兵條例

第一條 陸軍現役兵中徵兵令第十三條ニ依リ歸休ヲ命ス可キ者ハ二箇年以上服役シ
タルモノニ限り警備隊諸兵ハ八箇月以上在營シタル者ニ限ル
第二條 歸休ヲ命ス可キ人員ハ其都度陸軍大臣上裁ヲ經テ之ヲ定ム
第三條 歸休兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ召集ス平常ト雖モ演習ノ爲メ又ハ原隊ニ於

陸軍歸休兵條例自第一條至第三條

テ臨時兵員ノ補缺ヲ要スルトキハ之ヲ召集ス

第四條 歸休兵在郷中ハ本籍大隊區司令官ノ監視ニ屬ス

第五條 歸休兵在郷中現役滿期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ豫備役ニ入ルモノトス

第六條 歸休兵ハ官廳ニ奉職スルコトヲ得但奉職ノ故ヲ以テ召集ノ猶豫若クハ免除スルコトナシ

第七條 歸休兵ハ退營後七日以内ニ衛戍地ヲ出發シ一日行程十里詰ヨリ抄ナカラサル日數間ニ歸郷シ着後七日以内ニ市町村長東京、京都、大坂ノ三市ニ在テハ區長以下之ニ倣フヲ經テ監視區長ニ届出可シ

退營後衛戍地若クハ其他ノ地ニ八日以上滞在若クハ寄留セント欲スルトキハ本條

ノ出發期日内ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報ス可キ者ヲ定メ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ但歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲ス可シ

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ大隊區ニ係ルトキハ其地ノ市町村長ヲ經テ同地監視區長ニモ届出ヘシ但本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲナストキ亦同シ

第八條 歸休兵在郷中傷痕若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

第九條 歸休兵在郷中兵籍上異動ヲ生シタルトキハ七日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ但監視區外ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ監視區長ニ届出可シ

第十條 歸休兵在郷中七日以上ノ旅行又ハ寄留セント欲スルトキハ召集ノ命アルト

廿七年十月
勅令第
百八十二
號參看

キ之ヲ通報ス可キ者ヲ定メ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ但歸郷シタルトキハ七日以内ニ市町村長ヲ經テ其由ヲ監視區長ニ届出可シ

前項ノ寄留地本籍地外ノ大隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地監視區長ニ届出ヘシ但本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲ストキ亦全シ

第十一條 歸休兵ハ外國ニ旅行又ハ寄留スルヲ許サス

對馬警備隊區ニ在テハ朝鮮國釜山ニ旅行又ハ寄留スルコトヲ得此場合ニ於テハ第十條第一項ノ例ニ依ル可シ

第十二條 歸休兵在郷中死亡又ハ失踪シタル者アルトキ及失踪中戸籍ヲ轉換シタルトキハ其戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ七日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ失踪ノ者歸郷シタルトキ若クハ踪蹟ヲ知得シタルトキ亦同シ但監視區外ニ戸籍ヲ轉換

シタルトキハ新舊所管ノ監視區長ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ監視區長ニ通知スヘシ

第十三條 歸休兵在郷中重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記

シ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族ヨリ七日以内ニ市町村長ヲ經テ監視區長ニ届出可シ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ監視區長ニ通知スヘシ

第十四條 歸休兵演習又ハ臨時兵員補缺ノ爲メ召集ノ命ヲ受ケタルトキ傷痍疾病其他ノ事故ニテ歸營シ難キトキハ傷痍疾病ノ者ハ陸軍醫官ノ診斷証書若クハ地方醫師ノ病況書其他ノ事故ハ證明証ヲ添ヘ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ監視區長ニ届出

可シ

第十五條 本條例中兵ト稱スルハ徵兵令ニ依リ徵集シタル雜卒職工ヲ包含ス

第十六條 警備隊諸兵ニシテ定期退營シ又ハ輜重輸卒ニシテ退營シ尙ホ現役中ニ在ル者ハ總テ本條例ニ依ル

第十七條 第七條第一項及第二項第九條第十條第一項及第十一條第二項第十二條第

十三條ノ届出ヲ爲サ、ル者ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十八條 第七條第十條ノ通報人ニシテ正當ノ事由ナク召集ノ命ヲ通報セス若クハ其通報ヲ遲緩シタル者及第十一條第一項ニ違背シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十九條 本條例中大隊區司令官トアルハ警備隊區ニ於テハ警備隊區司令官監視區

長トアルハ警備隊區副官監視區トアルハ警備隊區トス

附則

第二十條 市制町村制ヲ實施セサル地方ニ在テ本條例中市町村長ノ職務ハ戶長ニ於テ之ヲ行フ可シ

達甲第十三號 (五月三日輪廓附)

府、縣

陸軍武官結婚條例別冊之通被相定候條此旨相達候事

(別冊)

陸軍省